

**教育に関する事務の点検及び評価報告書**  
**(令和5年度事業分)**

**令和6年8月**  
**枚方市教育委員会**

# 目 次

1. 点検及び評価の趣旨	1
2. 点検及び評価の方法	
(1) 点検及び評価の対象	1
(2) 点検及び評価手順	1
(3) 評価基準	2
(4) その他	3
3. 評価結果（教育委員会の自己点検評価）	
(1) 評価結果の内訳	4
(2) 点検評価の結果	6
4. 学識経験者の知見の活用	6
5. 点検評価員による総評	7
6. 令和5年度の枚方市教育振興基本計画における事業の点検評価	
基本方策1 確かな学力と自立を育む教育の充実	8
基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	19
基本方策3 教職員の資質と指導力の向上	34
基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実	38
基本方策5 幼児教育の充実	43
基本方策6 社会に開かれた学校づくりの推進	47
基本方策7 学びのセーフティネットの構築	51
基本方策8 学びを支える教育環境の充実	63
基本方策9 生涯学習の推進と図書館の充実	70
基本方策10 文化・スポーツなどの生涯を豊かにする体験活動の充実	82
7. 枚方市教育委員会の令和5年度の活動の概要	
(1) 令和5年度教育委員会定例会・臨時会について	93
(2) 令和5年度教育委員会協議会について	93
(3) 令和5年度教育委員会の活動状況	95

# 令和6年度 教育に関する事務の点検及び評価

## 1. 点検及び評価の趣旨

「教育に関する事務の点検及び評価」は、効果的に教育行政を推進し、及び市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用し点検及び評価を行うものです。今般、その結果を取りまとめましたので、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

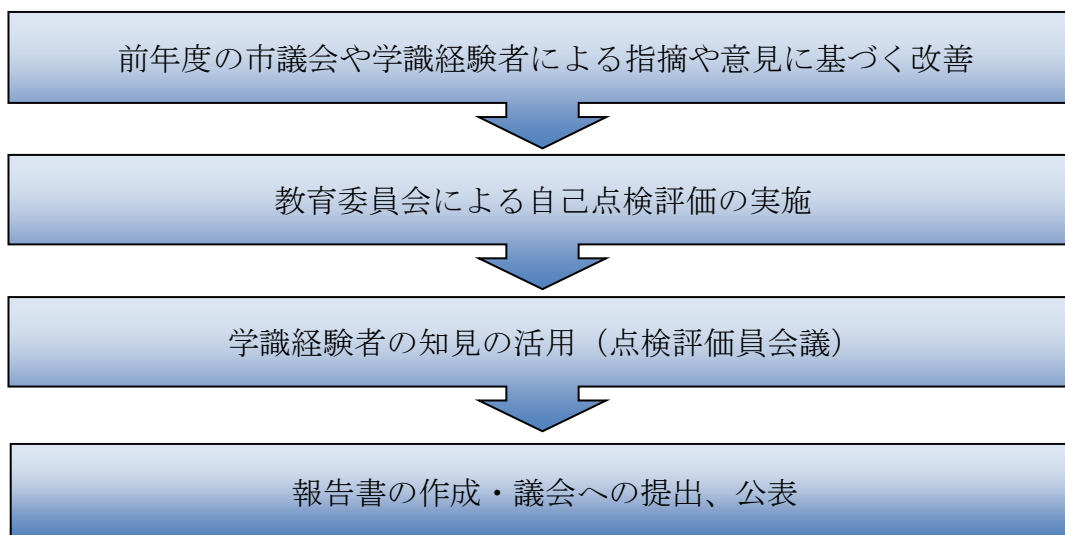
## 2. 点検及び評価の方法

### （1）点検及び評価の対象

本市教育振興基本計画に掲げる10の基本方策を具体化するための65の主要事業

### （2）点検及び評価手順

令和6年度の点検及び評価は、次の手順で実施します。



### (3) 評価基準

令和5年度の主要事業を「達成度」と「達成度の推移」の評価基準により点検評価を行います。

- ・達成度：「実績値÷目標値×100」（※①）により年度ごと、主要事業ごとに算定します。
- ・達成度の推移：前年度（※②）からの推移に応じ、主要事業ごとに次の矢印を付記し、評価を区分しています。

達成度の推移	内 容
↗	・前年度より高い数値となった場合
→	・前年度と同じ数値だった場合
↘	・前年度より低い数値となった場合
達成継続 (↗)	・達成度の割合が、前年度・今年度ともに100%以上で、前年度の達成度より高い割合となった場合
達成継続 (→)	・達成度の割合が、前年度・今年度ともに100%以上で、前年度の達成度と同じ割合となった場合
達成継続 (↘)	・達成度の割合が、前年度・今年度ともに100%以上で、前年度の達成度より低い割合となった場合

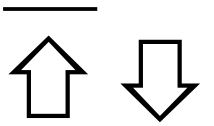
※①指標のめざすべき方向が「↗」となっている場合は、「{目標+(目標-実績)}÷目標×100」の算定式により達成度を算定します。

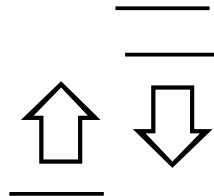
※②事業又は指標の性質に応じて前年度以外の過去の達成度に基づき、評価区分を定めることがあります。

#### (4) その他

報告書の表中の凡例については、以下のとおりです。

● 「指標」の「めざすべき方向」について

 ... 実績値が、目標値へ到達することをめざしています。

 ... 実績値が、目標値を上（下）回ることをめざしています。

● 「令和5年度の取り組み実績」の表記について

- ・文頭に◆：事業の取り組み実績
- ・文頭に◇：事業の課題事項

### 3. 評価結果（教育委員会の自己点検評価）

#### （1）評価結果の内訳

基本方策		主要事業	達成度	達成度の推移
基本方策 1	①	小中一貫教育推進事業	101.03%	↑
	②	学校園活性化事業	103.69%	達成継続 (↘)
	③	枚方市少人数学級充実事業	102.47%	↑
	④	学校ICT機器等整備業務（小中学校教育用ICT機器等整備事業）	90.03%	↑
	⑤	多文化共生教育研究事業（多文化共生教育推進事業）	101.33%	↑
	⑥	英語教育推進事業	96.15%	↘
	⑦	読書活動推進事業	87.02%	↘
	⑧	進路指導等事務	100.00%	達成継続 (→)
	⑨	学力向上推進事業（放課後自習教室事業）	100.00%	達成継続 (→)
基本方策 2	①	人権教育推進研究事業（人権教育推進事業）	89.51%	↑
	②	多文化共生教育研究事業【再掲】		
	③	帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	100.00%	↑
	④	小中一貫教育推進事業【再掲】		
	⑤	学校水泳授業民間活用事業	100.00%	達成継続 (→)
	⑥	部活動指導協力者派遣事業	77.71%	↘
	⑦	学校支援社会人等指導者活用事業	89.18%	↘
	⑧	小学校給食事業	100.00%	達成継続 (→)
	⑨	学校給食における地元農産物利用促進事業	13.16%	↘
	⑩	食物アレルギー対応推進事業	100.00%	達成継続 (→)
	⑪	学校健康管理事業	102.73%	達成継続 (↑)
	⑫	健康診断事業	99.19%	↘
	⑬	中学校給食充実事業	74.06%	↑
	⑭	文化財活用事業	175.68%	達成継続 (↑)
	⑮	野外活動センター利用促進事業	80.00%	↘
基本方策 3	①	枚方市教職員育成事業	96.01%	↑
	②	授業の達人養成・教科研究事業	99.25%	↘
	③	学校園活性化事業【再掲】		
基本方策 4	①	支援教育推進事業	98.33%	↘
	②	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	93.33%	↑
	③	枚方市教職員育成事業【再掲】		
	④	就学前支援教育推進事業	100.00%	達成継続 (→)
基本方策 5	①	幼児教育充実事業	100.00%	達成継続 (→)
	②	学校園活性化事業【再掲】		
	③	学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】		
	④	幼稚園保護者支援充実事業（預かり保育事業）	98.30%	↘
基本方策 6	①	コミュニティ・スクール推進事業	95.45%	↘
	②	教育委員会広報事務	110.52%	達成継続 (↑)
基本方策 7	①	小学校安全監視事業	100.00%	達成継続 (→)
	②	通学路安全対策事業	100.00%	↑
	③	小中学校安全対策事業	100.00%	達成継続 (→)
	④	生徒指導充実事業（枚方市生徒指導体制充実事業）	71.88%	↘
	⑤	いじめ問題対策事業	99.26%	↑
	⑥	スクールアドバイザー派遣事業	100.00%	達成継続 (→)
	⑦	教育相談事業	98.16%	↑
	⑧	「心の教室相談員」配置事業	99.57%	↘
	⑨	福祉・教育ソーシャルワーク事業	103.01%	↑
	⑩	不登校児童・生徒支援事業	21.93%	↑

基本方策8	①	学校整備・保全事業	100.00%	達成継続 (→)
	②	学校空調設備整備・維持管理事業	100.00%	達成継続 (→)
	③	学校規模等適正化事業	100.00%	達成継続 (→)
	④	学校ICT機器等整備業務【再掲】		
	⑤	校務の情報化推進事業	140.67%	↑
	⑥	小学校給食事業【再掲】		
	⑦	樟葉西小学校給食調理場改修事業	100.00%	↑
基本方策9	①	社会教育活動推進事業	89.25%	↓
	②	生涯学習事業	54.35%	↓
	③	図書館資料購入事務	113.33%	達成継続 (↓)
	④	分館・分室巡回業務	100.00%	達成継続 (→)
	⑤	中央図書館運営事業	109.19%	達成継続 (↑)
	⑥	図書館分館運営事業	138.49%	達成継続 (↓)
	⑦	コンピュータシステム運営事業	115.11%	達成継続 (↓)
	⑧	障害者利用促進事業	109.06%	↑
	⑨	電子図書館運営事業	144.59%	達成継続 (↑)
	⑩	学校図書館支援事業	96.30%	↓
	⑪	読書活動推進事業【再掲】		
基本方策10	①	文化財活用事業【再掲】		
	②	野外活動センター利用促進事業【再掲】		
	③	文化芸術創造拠点形成事業	121.87%	達成継続 (↓)
	④	文化財保護管理事業	100.00%	達成継続 (→)
	⑤	市指定文化財補助事業	100.00%	達成継続 (→)
	⑥	特別史跡百済寺跡再整備事業	100.00%	達成継続 (→)
	⑦	市史編さん年報発行事務	74.33%	↓
	⑧	各種スポーツ大会等開催事業	83.79%	↑
	⑨	スポーツ推進事業	89.84%	↑
	⑩	総合型放課後事業	252.40%	— (※1)
	⑪	枚方子どもいきいき広場補助事業	111.13%	— (※2)

※1 令和5年度新規事業で、達成度の推移を測定できないため。

※2 令和4年度評価不能により、達成度の推移を測定できないため。

## (2) 点検評価の結果

令和5年度の主要事業を評価基準により点検評価を行った結果は次のとおりです。

達成度	主要事業数
100%以上	38件
80%以上 100%未満	20件
50%以上 80%未満	5件
50%未満	2件
合計	65件

達成度の推移	主要事業数
↑	24 (5) 件
→	17 (17) 件
↓	22 (5) 件
評価不能	2件
合計	65 (27) 件

※カッコ内の数字は、前年度から目標達成を継続している主要事業数を内数で示しています。

## 4. 学識経験者の知見の活用

教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会自らが行った点検及び評価の結果について、次の学識経験者3人を点検評価員として委嘱し、指摘や意見をいただきました。

- 委員長 和田 良彦 (四天王寺大学 副学長)
- 委員 浦嶋 敏之 (関西外国語大学 教授)
- 委員 木村 典嗣 (税理士)



## <点検評価員会議>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、枚方市教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検及び評価に対する意見をいただくため、3回の会議を開催します。

点検評価員会議	開催日	案件名
第1回	令和6年6月7日	1. 教育に関する事務の点検及び評価報告書案の概要について 2. 前年度の点検評価員会議における改善意見への対応について 3. その他
第2回	令和6年7月10日	1. 点検評価員からの意見への対応について 2. その他
第3回	令和6年7月31日	1. 点検評価員による基本方策ごとの評価について 2. 点検評価員による総評と評価員のまとめについて 3. その他

## 5. 点検評価員による総評

本点検評価員会議は、枚方市教育委員会の「教育に関する事務の点検及び評価」の結果について「適正」とする。以下にその理由を述べる。

本会議では、点検及び評価を行うに当たり、枚方市教育振興基本計画の基本方策に基づく各事業について、ヒアリング等を行った。

その結果、令和5年度主要事業については、継続して幅広く事業に取り組んでいること、また、昨年度の評価を踏まえ、事業内容の改善や充実、指標の見直しが図られていること、その結果について適切に自己点検評価がなされていることから「適正」と判断した。

学校教育においては、授業内外での1人1台端末の多様な活用をはじめ、学力向上のサポート、支援教育、不登校児童生徒支援の拡充など、市の教育振興基本計画にも掲げる「誰一人取り残さない個に応じた学びの最適化」の実現に向けた取り組みが進められている。

個々の事業では、枚方市における不登校の児童・生徒の数は、年々増加していることが懸念される中、今後も児童・生徒が安心して過ごすことのできる居場所づくりや不登校の児童・生徒が社会から取り残されないための取り組みを重点的に推進し、地域や関係機関と連携しながら、常に公的サポートとつながっている状況の確立を進めていただきたい。

また、いじめ・暴力問題について、発生要因を総合的に分析していただいた上で、事後の指導だけでなく、未然防止に重きを置いた取り組みを検討いただきたい。

一方で、多様な対応を求められる教職員の負担増加に対しては、効率的な事務処理体制の構築や悩みを相談できる支援体制など働きやすい職場環境づくりに努めていただきたい。

社会状況の変化が激しい中、取り組みの進捗や課題、成果が、市民にわかりやすく伝わるよう、引き続き、指標の見直しや参考指標の設定などの工夫をされることを要望する。

今後においても、きめ細やかな事業展開により、枚方市教育行政の更なる質的向上が図られることを期待する。

## 基本方策1 確かな学力と自立を育む教育の充実

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。新学習指導要領では、「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成する資質・能力を「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の三つの柱に整理されました。

また、新型コロナウイルス感染症等の危機事象が起こった際にも、子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを実現していくことが必要です。

学校教育においては、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、求められる資質・能力が偏ることなく実現できるように「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、子どもたちの確かな学力と自立を育みます。


また、9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続、幼保こ小等の円滑な接続<sup>①</sup>を踏まえ、教職員の指導力や学校力の向上を図ります<sup>②</sup>。

小学校において本市独自の少人数学級編制を実施し、よりきめ細かな指導を実践します


<sup>③</sup>。また、超スマート社会（Society 5.0）に対応するため、プログラミング教育の推進や情報活用能力の育成の視点も踏まえながら、令和2年6月に策定した「枚方市学校教育におけるICT活用の方針」や、国のGIGAスクール構想に基づき、一人一台のタブレット端末等のICTを活用した協働型・双方向型の授業及び個別最適化された学びを推進します<sup>④</sup>。

諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進し<sup>⑤</sup>、市内大学とも連携しながら、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成します<sup>⑥</sup>。また、学校図書館の活用による言語能力の育成<sup>⑦</sup>や、職業体験や社会見学、社会人による特別授業等により、社会と関わる機会を多く作るなど、キャリア教育を推進します<sup>⑧</sup>。


さらに、新たな感染症等の危機事象による学校の臨時休業などにも対応できるよう、オンライン授業の実施等のICTを適切に活用した学習活動の充実を図る<sup>④</sup>など、子どもたちの「自立」「協働」「創造」する力を育む新しい教育に向けた取組を進めます<sup>①⑨</sup>。

1-①	小中一貫教育推進事業	担当課	教職員課 教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	39,644	
					決算額	42,969	
事業概要（令和5年度の取り組み内容）							
<p>各中学校区において、小学校から中学校への円滑な接続や、シームレスな学びの推進等に向けて、校区の現状と課題を把握し、小・中学校が連携して以下の取り組みを実施している。</p> <p>○学力向上の取組み 全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取組みを推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。 教科会・学年会等における授業研究の推進を図るとともに、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、家庭における学習習慣の充実に努める。</p> <p>○体力向上の取組み 各小・中学校で、これまで行ってきた体力テストの結果を基に、現状の児童・生徒に合わせた体力向上推進計画を作成・実践する。 大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取組みを推進する。</p>							
指標		R3年度	R4年度	R5年度			
<b>（実績値の内容）</b> 全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率 （参考指標1）※（参1）と表記 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における実技に関する調査において全国平均を上回る種目数		<b>実績値 [A]</b> (%)	[小学校] 国語：63.00 算数：70.00 [中学校] 国語：63.00 数学：56.00 （参1）2種目	[小学校] 国語：66.00 算数：64.00 [中学校] 国語：69.00 数学：51.00 （参1）2種目	[小学校] 国語：67.00 算数：63.00 [中学校] 国語：71.00 数学：53.00 （参1）小2種目 中1種目		
<b>（目標値の根拠）</b> 小学校：国語 全国平均 算数 全国平均×1.01 以上 中学校：国語 全国平均 数学 全国平均×1.01 以上 （参考指標1） 前年度実績以上		<b>目標値 [B]</b> (%)	[小学校] 国語：64.70 算数：70.90 [中学校] 国語：64.60 数学：57.77 （参1）2種目	[小学校] 国語：65.60 算数：63.83 [中学校] 国語：69.00 数学：51.91 （参1）2種目	[小学校] 国語：67.20 算数：63.13 [中学校] 国語：69.80 数学：51.51 （参1）小2種目 中1種目		
<b>（めざすべき方向）</b> 		<b>達成度 [C]</b> (%)  ※◇なら C=A÷B ※◇なら C=(B+(B-A))÷B （小数第三位を四捨五入）	[小学校] 国語：97.37 算数：98.73 [中学校] 国語：97.52 数学：96.94 （参1）100.00	[小学校] 国語：100.61 算数：100.27 [中学校] 国語：100.00 数学：98.25 （参1）100.00	[小学校] 国語：99.70 算数：99.79 [中学校] 国語：101.72 数学：102.89 （参1）小 100.00 中 100.00		
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）							
<p>○学力向上の取組み ◆全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の校内組織の充実を図るとともに、学識経験者による講義や指導・助言を受けながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取組みを推進した。 ◆授業改善や家庭学習等の充実に向けて、各校の情報教育推進担当を中心に、ICT機器の活用を図った。</p> <p>○体力向上の取組み ◆各小中学校で、児童・生徒の実態に応じた体力向上推進計画を作成し、実践している。また大阪体育大学と連携した研究指定校において、体力向上に向けた取組みを実践し、2学期に、1年間の取り組みを公開授業として発表を行った。</p>							
これまでの点検評価員等からの主な意見							
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	101.03%	
	市長公約	平成28年度市政運営方針、令和元年度所信表明					
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）			R4からR5の 達成度の推移	↑	
	関連計画	—					


※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。


1-②	学校園活性化事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	33,753
					決算額	25,388
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<p>全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校（園）内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等に活用する。また、菊咲かそう体験事業や、枚方市小学生スポーツCarnival、小学生合同音楽会等の教育委員会が主体となる事業を実施する。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>（実績値の内容）</b> 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」の設問に対する児童・生徒の肯定的な回答の割合		実績値 [A] (%)	小：88.90 中：89.50	小：83.70 中：86.40	小：82.50 中：84.90	
<b>（目標値の根拠）</b> 全国平均以上		目標値 [B] (%)	全国平均 小：78.80 中：77.80	全国平均 小：80.10 中：78.70	全国平均 小：81.80 中：79.70	
<b>（めざすべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  <small>※△なら C=A÷B ※□なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)</small>	小：112.82 中：115.04	小：104.49 中：109.78	小：100.86 中：106.52	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全69校園において設定した研究主題に沿った校内研修等を計画し、外部講師を招聘した校内研修を実施した。また、公開授業を小・中学校において実施した。</li> <li>◆菊咲かそう体験事業は全校園にて実施した。なお、菊花展への出展を希望制にて実施した。</li> <li>◆小学生合同音楽会を6月19日から22日までの4日間、総合文化芸術センターにて開催した。</li> <li>◆枚方市小学生スポーツCarnivalを11月4日に枚方市立陸上競技場において小学校1年生～6年生を対象にして実施した。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	103.69%
	市長公約	-			R4からR5の 達成度の推移	達成継続 (√)
	実行計画	-				
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-③	枚方市少人数学級充実事業	担当課	教職員課 教育指導課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	439,244
					決算額	347,395
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>公立小学校では、1学級35人以下の少人数学級編制を、国が段階的に拡充しており、令和5年度については第1学年から第4学年まで実施する。本市では、小学校における少人数学級編制を充実させ、子どもたち一人ひとりに対し、きめ細かな指導を行うことで、児童への教育効果を高めるため、支援学級在籍児童を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を第4学年まで実施する。また、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を実施する。</p> <p>学級数が増える学校に対して市費負担任期付教員を採用し配置する。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>(実績値の内容)</b> 基礎学力のたしかめテストにおいて到達基準に達した人数の割合 (参考指標1) ※(参1)と表記 学年末テストにおける全国調査の過去問題を活用した「課題に正対した問題」の平均正答率 (参考指標2) ※(参2)と表記 保護者アンケートにおいて「子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている。」と回答した割合		実績値 [A] (%) 81.54 (参1) 60.65 (参2) 88.29	77.39 (参1) 56.14 (参2) 90.18	79.30 (参1) 57.26 (参2) 90.34		
<b>(目標値の根拠)</b> 対前年度比向上 (参考指標1) 対前年度比向上 (参考指標2) 90%以上		目標値 [B] (%) 88.02 (参1) 43.60 (参2) 90.00以上	81.54 (参1) 60.65 (参2) 90.00以上	77.39 (参1) 56.14 (参2) 90.00以上		
<b>(めざすべき方向)</b> 		達成度 [C] (%) 92.64 ※△なら C=A÷B ※□なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	94.91 (参1) 139.11 (参2) 98.10	92.56 (参1) 92.56 (参2) 100.20	102.47 (参1) 102.00 (参2) 100.38	
令和5年度の取り組み実績 (◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆本市独自の支援学級在籍児童を含めた少人数学級編制として、小学校第1学年から小学校第4学年までは35人、第5・第6学年については40人で実施とするため、市費負担任期付教員の採用・配置に取り組んでいる。</li> <li>◆本市独自の学級編制による増学級数55学級に対し、任期付講師54人、臨時講師1人を配置した。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・その効果を適切に示すことができる指標を今後も引き続き検討いただきたい。(R5点検評価員会議)						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	102.47%
	市長公約	平成30年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	↑
	関連計画	-				


1-④	学校ICT機器等整備業務 (小中学校教育用ICT機器等整備事業)	担当課	教育研修課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	794,585
					決算額	793,722
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の維持・管理を行う。</li> <li>・授業支援ソフトウェア、MDMなどの整備、大型提示装置の周辺機器等を整備する。</li> <li>・一人一台タブレット端末の導入に伴い、活用充実に向けたソフト面の整備及び評価を行う。</li> <li>・一人一台タブレット端末の更新に向けて、外部の専門家を「ネクスト・ギガ・リプレイスデザイナー」として委嘱し、さらに専門の委員会を立ち上げ具体的な検討を開始する。</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 教員のICT活用指導力チェックリスト「教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用することができますか。」に対して肯定的な回答をした割合 ※【】内は全国平均		実績値 [A] (%)	90.90 【88.20】	89.70 【89.30】	90.03 【未公表】	
(目標値の根拠) 肯定的回答の割合100%		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※□なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	90.90	89.70	90.03	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆令和7年度からの児童及び生徒に貸与している学習用端末の更新、その他学校教育における情報化の推進のために設置した意見聴取会(以下、ネクスト・ギガ・リプレイス意見聴取会)の第1回会議を令和5年10月11日に開催した。今後も月1回開催し、情報通信技術及び情報教育の関係者の意見を聴取し、令和7年度の端末更新を適切に行う。</p> <p>◆情報活用能力に位置づけられている「タイピングスキル」の向上をめざして、探究的な学び支援補助金を活用して、タイピングシステムを実証的に導入した。本システムを活用することにより、取組回数やスキルの向上結果が自動でグラフ化され、児童生徒が自身の結果をメタ認知し、更なるスキル向上につなげることができる。</p> <p>◆各学校が授業での利用を希望するアプリケーション(無償のみ)を申請する取組を継続していることで、一人一台端末に導入しているアプリケーション数の合計が100を超えた。</p> <p>◇国及び市独自の調査結果の整理及び評価。</p> <p>◇小中学校に配備している授業用コンピュータの整理。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・今後とも、未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育成するため、学校ICT機器等の活用の充実に取り組んでいただきたい。(R4点検評価員会議)						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		達成度	90.03%	
	市長公約	平成29・30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)		R4からR5の 達成度の推移	↑	
	関連計画	枚方版ICT教育モデル 教育の情報化に関する手引-追補版-文科省				

1-⑤	多文化共生教育研究事業 (多文化共生教育推進事業)	担当課	支援教育課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	211
					決算額	193
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、枚方市多文化共生教育研究会において研究事業に取り組む。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>(実績値の内容)</b> 年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数		実績値 [A] (人・校)	319	225	228	
<b>(目標値の根拠)</b> 前年度実績		目標値 [B] (人・校)	225	319	225	
<b>(めざすべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら $C=A \div B$ ※ <sup>□</sup> なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	141.78	70.53	101.33	
令和5年度の取り組み実績 (◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<b>◆事業の取組実績</b> 5月23日 第1回研究委員会 76名 6月17日 府外教大会 2名 6月20日 第2回研究委員会(講師:金光敏さん) 70名 7月23日 サマースクール(山之上小学校) 32名(うち教職員14名) 10月4日 第3回研究委員会(講師:ウスビ・サコさん) 66名 11月3日 秋のつどい(枚方野外活動センター) 1月17日 第4回研究委員会						
<b>これまでの点検評価員等からの主な意見</b> ・外国にルーツのある子どもへの支援をはじめ、すべての子どもたちが異文化を理解し、多文化を許容することが重要である。(R5点検評価員会議)						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	101.33%
	市長公約	-			R4からR5の達成度の推移	↑
	実行計画	-				
	関連計画	-				

1-⑥	英語教育推進事業	担当課	教職員課 教育指導課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	199,862
					決算額	159,807
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校に外国人英語教育指導助手(NET)、全小学校に日本人英語教育指導助手(JTE)または英語専科教員を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校で指導する外国人英語教育指導助手(NET-E)を配置し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。</li> <li>・英語の4技能(「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」)をバランスよく育成するため、全市立中学校第2・第3学年の全生徒を対象に4技能の到達度を測ることができる学習アプリを活用し、生徒の英語力向上を図る。</li> <li>・関西外国語大学と連携し、留学生との交流等、英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため「枚方英語村」を実施する。</li> <li>・ICT機器を活用して、本市小学校と海外の小学校とオンラインでの交流を実施する。</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童(小学校第3学年～第6学年)及び生徒(中学校第1学年～第3学年)の割合		実績値 [A] (%)	小: 88.09 中: 84.05	小: 87.83 中: 80.86	小: 86.90 中: 81.37	
(目標値の根拠) 児童(小)の満足度90%以上 生徒(中)の満足度85%以上		目標値 [B] (%)	小: 90.00 中: 85.00	小: 90.00 中: 85.00	小: 90.00 中: 85.00	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※◇なら $C=A \div B$ ※▽なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	小: 97.88 中: 98.88	小: 97.59 中: 95.13	小: 96.56 中: 95.73	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中学校にNETを18名、臨時NETを1名配置、小学校にNET-Eを1名配置した。小学校にJTEを23名、臨時JTEを1名配置した。</li> <li>◆英語4技能の到達度を測ることができる学習アプリの活用が進んでおり、夏休み終了までに、全中学校の第2・第3学年において、レベルチェックテストをほぼ全員が受験済み。</li> <li>◆枚方英語村を、関西外国語大学と連携して、2月17日・24日の2日間実施した。</li> <li>◆一人一台タブレットを活用して、本市小学校と海外の小学校とオンラインでの交流を複数回実施した。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年があがるごとに、授業が楽しいと答えた児童数が減少している実態を詳しく分析していただき、特に小学校で英語を苦手とする児童をつくらないう、今後も取り組みを進めていただきたい。(R5点検評価員会議)</li> </ul>						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	96.15%
	市長公約	平成30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	↓
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。



1-⑦	読書活動推進事業	担当課	教育指導課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	79,750
					決算額	85,062
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。</p> <p>・市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進する。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
<b>(実績値の内容)</b> 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する本市の割合		実績値 [A] (%)	小: 55.60 中: 41.20	小: 54.90 中: 43.60	小: 52.20 中: 43.00	
<b>(目標値の根拠)</b> 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する全国の割合		目標値 [B] (%)	小: 61.20 中: 50.10	小: 59.60 中: 48.60	小: 60.00 中: 49.40	
<b>(めざすべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※ $\square$ なら $C=A \div B$ ※ $\diamond$ なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	小: 90.85 中: 82.24	小: 92.11 中: 89.71	小: 87.00 中: 87.04	
令和5年度の取り組み実績 (◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆学校司書配置小学校20校による、「学校図書館を活用した取組報告書」をポータルサイト「まなViVA!ひらかた」に掲載し、司書教諭・学校司書研修にて周知するとともに、全小中学校の取組みを共有することで、読書活動の取組推進を図った。また、小学生の読書習慣への課題を意識した読書活動への動機づけ取組例の共有及び研修を行った。</p> <p>◇各校で読書活動の取組推進を図っており、活動報告としての実績はあるものの、全国学力・学習状況調査やアンケートでの数値としては表れにくい。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<p>・令和3年度については、事業指標の結果から、特に小学生の読書習慣に課題が生じているため、対策を講じていただきたい。(R4点検評価員会議)</p>						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	87.02%
	市長公約	平成28・29・30年度・令和3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	↓
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-⑧	進路指導等事務	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	2,898
					決算額	2,892
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学意欲を有しながら、経済的な理由により就学が困難な支援を要する生徒や保護者等に対して、進路選択支援事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、奨学金等に関する相談や情報提供を実施する。</li> <li>・教育活動全体を通して学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲などを培うキャリア教育を系統的に実施する。</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
<b>（実績値の内容）</b> 教育活動全体を通してキャリア教育を実施し、キャリア・パスポートを作成した児童・生徒の割合（パスポート作成児童・生徒数／5月1日現在全児童・生徒数）		実績値 [A] (%)	100.00 (30,388/30,388)	100.00 (29,906/29,906)	100.00 (29,292/29,292)	
<b>（目標値の根拠）</b> 児童・生徒全員がキャリア・パスポートを取得すること。		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
<b>（めざすべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※□なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆委託している特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会が奨学金等に関する相談や情報提供を行っていることを各中学校に周知案内した。例年、保護者等を対象に開催している奨学金制度に係る説明会について、令和5年度は当初予定した日程が大雨洪水警報のため延期になり、例年より遅い開催となったため、60名以上の予約があったが19名の参加になった。延期開催のため参加できなかった保護者向けに枚方市教育委員会のホームページに動画配信および説明会資料の添付を行った。</li> <li>◆例年に引き続きキャリア・パスポートを活用したキャリア教育を引き続き全小中学校において実施した。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	-				
	実行計画	-			R4からR5の達成度の推移	達成継続（→）
	関連計画	-				

1-⑨	学力向上推進事業 (放課後自習教室事業)	担当課	教育指導課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	53,805
					決算額	39,750
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、新学習指導要領で求められている資質・能力の育成を図るため、授業・課業時間外・家庭学習で学習ができる民間の学習コンテンツを利用できるように環境を整備し、学力向上の取り組みを推進する。また、放課後学習教室の開室方法を見直し、中学生対象に民間のノウハウを生かした学習教室を実施し、生徒の学習支援を行う。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>(実績値の内容)</b> 放課後学習教室の実施回数(夏季集中学習教室を除く。) (参考指標1)※(参1)と表記 「来年も参加したい」と回答した生徒の割合 (参考指標2)※(参2)と表記 実人数(登録者数)		実績値[A] (回)	1,593  (参1) 37% (参2) 2,077人	1,593  (参1) 48% (参2) 1,754人	513  (参1) 28.5% (参2) 449人	
<b>(目標値の根拠)</b> 【R3年度】年間24日(小45校) 27日(中19校)開室 【R4年度】年間24日(小44校) 27日(中19校)開室 【R5年度】年間27日(中19校)開室 (参考指標1)前年度実績以上 (参考指標2)前年度実績以上		目標値[B] (回)	1,593  (参1) - (参2) 1,559人	1,593  (参1) 37% (参2) 2,077人	513  (参1) 46% (参2) 240人	
<b>(めざすべき方向)</b>  		達成度[C] (%)	100.00  (参1) - (参2) 133.23	100.00  (参1) 129.73 (参2) 84.45	100.00  (参1) 61.96% (参2) 187.08%	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆児童・生徒一人ひとりの理解度に応じて学習ができる学習コンテンツを活用しながら、授業・課業時間外・家庭学習における学習機会の充実を図った。 ◆令和5年度から対象を中学3年生から中学生全学年に拡充した夏季集中学習教室を8月に開催し、参加生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着などの学習支援を図った。 ◆小学校における放課後自習教室は、令和5年度から実施の総合型放課後事業「放課後オープンスクエア」において児童個人の自主性にゆだねた学びの場を提供するものとした。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成28年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	達成継続(→)
	関連計画	-				

## 未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性

## 基本方策1に対する点検評価員による評価

継続して授業・放課後・進路指導等の様々な事業に取り組まれており、おおむね順調に推移できていると考える。先進的な取り組みが進む1人1台端末に関して、さらなる有効活用を検討していただきたい。

各事業についての意見は、次のとおりである。

1-②学校園活性化事業について、指標数値が減少傾向にある。タブレット端末を使用したコミュニケーションは活発になっているとのことなので、状況が正確に伝わるよう指標の見直しや参考指標の設定を検討いただきたい。

1-⑥英語教育推進事業について、達成度は高水準で推移しているものの、経年比較すると小学校では微減している。学年が上がっても英語を楽しく学べる授業づくりをこれからも進めていただきたい。

1-⑦読書活動推進事業については、様々な取り組みは行われているものの指標となる数値は小学校では減少傾向、中学校では横ばいとなっており、目標値との開きも縮小していない。今後も、好事例の発掘と共有を行うなど、読書活動の活性化に向けて取り組んでいただきたい。

## 基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。一人ひとりの個性や価値観、多様化する人権課題を身近に感じ、考える機会をつくることで、すべての人の人権を尊重し、自他の生命を大切にすることを養います<sup>①</sup>。また、多様な文化を認め合い、人類普遍の理念である平和の持つ意義を学ぶとともに、国際社会に貢献する資質や態度を身につけられる教育を進めます。

外国籍であったり、長く外国で居住していたなどの理由で、日本と異なる言語・文化・習慣で育った子ども等に対し、日本語習得のための機会の提供や相談支援などを進めることで、多文化共生の推進に取り組みます<sup>②③</sup>。

小・中学校期は健全な身体の育成に重要な時期であることから、大学との連携による効果的な体育科の授業実践や民間活力を活用した水泳指導などに取り組むとともに、中学校部活動については、引き続き専門的なスキルを持つ外部人材を活用し、充実していきます<sup>④⑤⑥⑦</sup>。

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加等、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、健全な食生活の形成のための食育の推進<sup>⑧⑨</sup>や、食物アレルギーへの対応など、安全で安心な学校給食を提供し<sup>⑩</sup>、健やかな体が育まれる環境づくりを推進します<sup>④⑪⑫</sup>。中学校給食では、これまでの検証や課題整理を引き続き行いながら、全員給食の実施に向けた検討を進めます<sup>⑬</sup>。

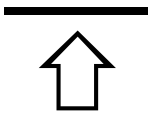
さらに、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会<sup>⑭</sup>や、自然を生かした野外活動などの体験活動を拡充します<sup>⑮</sup>。

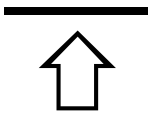
2-①	人権教育推進研究事業 (人権教育推進事業)	担当課	支援教育課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	1,611
					決算額	1,302
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校園長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育をすすめるため、枚方市人権教育研究協議会において研究事業に取り組む。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>(実績値の内容)</b> 大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数		実績値 [A] (人)	564	486	435	
<b>(目標値の根拠)</b> 前年度実績		目標値 [B] (人)	549	564	486	
<b>(めざすべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※△なら $C=A \div B$ ※□なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	102.73	86.17	89.51	
令和5年度の取り組み実績 (◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<b>◆事業の取組実績</b> 3月27日 大人教進路保障学習会 13名 4月12日 ひらがな学習会 37名 7月25日 大人教進路保障実践交流会 53名 8月22・23日 大人教夏季研 164名 10月27・28日 大人教中河内大会 55名 1月13日 大人教人権・部落問題学習研究集会 45名 1月24日 北河内冬季研 68名						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	89.51%
	市長公約	-			R4からR5の達成度の推移	↑
	実行計画	-				
	関連計画	-				
2-②	多文化共生教育研究事業【再掲】※基本方策1に記載			担当課	支援教育課	

2-③	帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	担当課	支援教育課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	5,095
					決算額	3,598
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
日本語の理解が困難な帰国児童等に対して、日本語及び教科の学習の支援、学校生活における相談等を行う教育指導員を派遣し、当該児童等の孤立感の解消や学校生活への適応の促進に努めることにより、当該児童等に対する教育の充実を図る。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対して教育指導員が対応可能な言語数の割合(対応可能な言語数/対応を必要とする言語数)		実績値 [A] (%)	100.00 (8/8)	87.50 (7/8)	100.00 (7/7)	
(目標値の根拠) 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対する教育指導員が対応可能な言語数の割合が100%		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら $C=A \div B$ ※ <sup>◇</sup> なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	87.50	100.00	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童生徒の編入日から1年間においては週2回、2年目においては週1回を限度に派遣している(1回の派遣時間は2時間以内)。</li> <li>◆帰国児童等が対応を必要とする言語数:7言語(中国語・タガログ語・スペイン語・ベトナム語・韓国語・ネパール語・ウルドゥー語)</li> <li>◆そのうち教育指導員が対応可能な言語数:7言語(中国語・タガログ語・スペイン語・ベトナム語・韓国語・ネパール語、ウルドゥー語)</li> <li>◆対象児童生徒数:18名</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		達成度	100.00%	
	市長公約	-		R4からR5の達成度の推移	↑	
	実行計画	-				
	関連計画	-				
2-④	小中一貫教育推進事業【再掲】※基本方策1に記載			担当課	教職員課 教育指導課	

2-⑤	学校水泳授業民間活用事業	担当課	教育政策課 新しい学校推進課 教育指導課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	44,135
					決算額	39,977
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・市立小学校における水泳授業について、民間施設や民間の専門スタッフを活用した取組みを進めることで、児童の泳力向上を図る。併せて、水泳授業に関連する業務の改善や、学校プール施設の老朽化に伴う維持管理、改修・改築費用の縮減などにつなげる。</p> <p>・事業の効果検証を行いながら、民間施設の活用の拡充、公設民営施設の新設、屋外プールの改修等、今後の学校プールのあり方について検討する。</p> <p>・令和5年度は、令和4年度に水泳授業を委託した6小学校に加え、新たに5小学校の水泳授業を委託する。また、各民間施設の受入意向や受入許容人数を正確に見極めた上で、民間活用のスケジュールや実施手法等を示す推進計画の作成に取り組む。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 水泳授業の委託を行った学校の数		実績値 [A] (校)	0	6	11	
(目標値の根拠) 段階的に小学校の水泳授業の委託を実施する。		目標値 [B] (校)	1	6	11	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※□なら $C=A \div B$ ※◇なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	0.00	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆小学校における水泳授業の民間活力の活用について、令和4年度の実施校(山田、殿二、田口山、樟葉西、蹠陀、氷室)に加え、新たに5校(殿一、枚二、樟葉南、樟葉北、開成)の学校で事業を実施した。</p> <p>◆学校規模、実施手法(民間施設利用orスタッフ派遣)、施設への移動方法(徒歩orバス)、授業の時期(1学期or2学期)について異なるケースを組合せ、それぞれの課題と効果を検証した。</p> <p>◇現状、施設利用の全校での実施には課題があるため、例えば地理的に施設利用が困難な学校などについて、スタッフ派遣を視野に計画的にプール改修を行うことも検討が必要である。</p> <p>◇施設利用校の学校プール施設の取り扱いも含めた跡地活用や、民間施設の事情により授業ができない場合のセーフティネットの考え方などの整理が必要である。</p> <p>◇受入れ枠の拡大を図るため、近隣の民間プール事業者の現状や意向をより詳細に把握するとともに、新たな屋内プール施設の確保策や、事業の実施方法の見直しについて検討が必要。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	令和2・3年度市政運営方針				
	実行計画	第2期実行計画(令和2年度～令和5年度)			R4からR5の 達成度の推移	達成継続(→)
	関連計画	-				



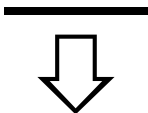
2-⑥	部活動指導協力者派遣事業	担当課	教育指導課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	16,919
					決算額	13,179
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 中学校部活動指導協力者の派遣回数 (指導協力者の派遣1回につき2時間、教員の負担軽減が図られたとみなす)		実績値 [A] (回)	4,468	4,852	5,168	
(目標値の根拠) 派遣回数の上限		目標値 [B] (回)	5,320	5,320	6,650	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら $C=A \div B$ ※ <sup>◇</sup> なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	83.98	91.20	77.71	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆延べ127名の部活動指導協力者の登録があり、市内19中学校のすべての学校で活用があった。 ◇部活動指導協力者に対するハラスメント等に関する研修の実施時期及び手法等の検討。 ◇中学校部活動地域移行に係る制度構築における部活動指導協力者の取扱いの検討。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・教員と同様に、部活動指導協力者に対しても、体罰防止等の研修の実施を検討すべきである。(R5点検評価員会議)						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		達成度	77.71%	
	市長公約	平成28・30年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)		R4からR5の達成度の推移	↓	
	関連計画	-				

2-⑦	学校支援社会人等指導者活用事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	3,890
					決算額	2,926
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校での教育活動の活性化を図る。						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 学校支援社会人等指導者を活用した回数		実績値 [A] (回)	1,431	1,654.5	1,623	
(目標値の根拠) 活用回数の上限(1校あたり約22回)		目標値 [B] (回)	1,761	1,830	1,820	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※◇なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	81.26	90.41	89.18	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆小・中学校において、各教科における学習支援(総合的な学習の時間や外国語等)や読み聞かせ、菊の栽培、放課後学習の支援を実施し、教育活動の活性化を図った。 ◆幼稚園においては、学校支援社会人等指導者により、お話会やわらべ歌遊びの会などを実施した。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・指導者確保の工夫として、コミュニティ・スクールを活用するなど、地域にあった募集方法を検討していただきたい。(R5点検評価員会議)						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	89.18%
	市長公約	-			R4からR5の 達成度の推移	↓
	実行計画	-				
	関連計画	-				


2-⑧	小学校給食事業	担当課	おいしい給食課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	714,998
					決算額	690,016
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全小学校の児童を対象に、2箇所センター方式の共同調理場、5箇所親子方式共同調理及び22箇所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便等の業務について業務委託により実施する。</li> <li>・学校給食の牛乳パックについては、関係部署及び民間事業者と連携し、リサイクルの取り組みを継続するとともに、献立表にリサイクルについてのコラムを掲載するなどし、環境への啓発に取り組む。</li> <li>・社会情勢の変化においても、保護者への経済的な負担をかけずに、栄養素をバランスよく摂取しつつ様々な食に触れる献立となるよう、国の交付金を活用し、質を確保した給食提供に取り組む。</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 小学校給食提供食数 (提供できた食数)		実績値 [A] (食)	4,158,584	4,098,819	4,057,831	
(目標値の根拠) 年間の給食提供食数 (年間で提供しなければいけない食数(※ 学校から提供の報告があった食数))		目標値 [B] (食)	4,158,584	4,098,819	4,057,831	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※▽なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆共同調理場、親子方式共同調理場及び単独調理場で、事故等を発生させることなく安全で栄養バランスのとれたおいしい学校給食を確実に提供できた。また、継続する物価高騰においても国の交付金を活用し、給食費を引き上げることなく、質を確保した給食の提供を行った。</li> <li>◆牛乳パックのリサイクルについては、児童生徒に配付する献立表に、リサイクルの工程等を紹介するコラムを掲載し、子どもたちのみならず家庭への環境意識の啓発を行った。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・学校給食の牛乳パックのリサイクルの取組みの教育効果を高めるため、児童へのフィードバックの更なる充実を期待する。(R5点検評価員会議)						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	100.00%		
	市長公約	-				
	実行計画	-				
	関連計画	-	R4からR5の 達成度の推移	達成継続(→)		

2-⑨	学校給食における地元農産物 利用促進事業	担当課	おいしい給食課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	—
					決算額	—
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図っている。令和4年度より精米の納入先を切り替え、地元農産物の使用率が大幅に減少したが、引き続き枚方産及び府内産野菜の活用に取り組む。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 地元農産物の割合 (大阪府内産・枚方産の使用割合)		実績値 [A] (%)	33.90	9.00	5.00	
(目標値の根拠) 第3次枚方市食育推進計画の地元農産物使用 目標値		目標値 [B] (%)	38.00	38.00	38.00	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※◇なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	89.21	23.69	13.16	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆野菜類については、枚方産・府内産合わせて20品目で32.0トン、うち枚方産は17品目25.2トン(えんどう豆、大根、キャベツ、白菜、ほうれん草、チンゲン菜、小松菜、にんじん、里芋、青ねぎ、玉ねぎ、じゃがいも、かぼちゃ、なす、さつまいも、黒米、冬瓜)を使用した。米については、令和4年5月に発生した精米事業者の衛生面の問題により業者変更を行い北河内産米を含む大阪産の米の使用が不可能になったことから、令和5年度については北河内産米を含む大阪産の使用はなかった。  ◇令和4年5月に発生した精米事業者の衛生面の問題以降、地元の精米購入が難しい状況が続いている。野菜購入量のみでの目標値の達成は地元農家の生産状況等からも困難であり、地元の精米を扱う事業者の対応の変化も見込めない状況が続いていることから、令和6年度に改訂される「第4次食育推進計画」からは、学校給食における地元農産物使用量に関する目標設定がなくなることとなったため、令和6年度以降の本事業の取扱いを検討する必要がある。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	13.16%
	市長公約	-				
	実行計画	-			R4からR5の 達成度の推移	↓
	関連計画	第3次枚方市食育推進計画				


2-⑩	食物アレルギー対応推進事業	担当課	おいしい給食課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額 決算額	— —
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギー対応の適切かつ的確な取組みを進めるため、主治医が記載した学校生活管理指導表や学校給食における食物アレルギー対応マニュアルに基づき、学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)が0件となるよう、安全の確保に取り組む。</li> <li>・学校給食における食物アレルギーに伴う事故やヒヤリハットの一層の防止と国や府に基づいた運用の徹底を図るため、学校園におけるアレルギー疾患対応の手引きの改訂を行う。</li> <li>・中学校給食においては、毎日、7大アレルゲンを使用しない代替食を提供することで、より安全安心な給食提供を実施する。</li> </ul>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)件数	実績値[A] (件)	0	0	0		
(目標値の根拠) アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)がないこと	目標値[B] (件)	0	0	0		
(めざすべき方向) 	達成度[C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら $C=A \div B$ ※ <sup>□</sup> なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆中学校給食において、毎日7大アレルゲンを使用しない給食の提供を行った。令和6年度からは食品表示基準の改正に伴い、くるみをアレルゲンに追加し、8大アレルゲンを使用しない対応を実施していく。小学校給食においては、卵・乳・エビの除去食対応を行った。また、学校給食における食物アレルギーに伴う事故やヒヤリハットの一層の防止と国・府に基づいたアレルギー運用の徹底を図るため、令和5年度は食物アレルギー対応検討委員会を開催し、「学校園におけるアレルギー疾患対応の手引き」の改訂を行った。</p> <p>◆学校で発生したヒヤリハット・事故報告については、教育委員会内での情報共有を行うとともに、必要に応じて、現場への注意喚起を行った。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	達成継続(→)
	関連計画	-				


2-①	学校健康管理事業	担当課	学校支援課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	6,556
					決算額	3,888
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>学校園医(内科医、眼科医、耳鼻科医)、学校園歯科医、学校薬剤師、結核検診医、心臓検診医、腎臓検診医、歯科衛生士による小学校44校、中学校19校での内科、眼科、耳鼻科、歯科健康診断などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施する。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 学校内科医1人あたりの児童・生徒数		実績値 [A] (人)	309	328	321	
(目標値の根拠) 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出		目標値 [B] (人)	330	330	330	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ $\square$ なら $C=A \div B$ ※ $\square$ なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	106.36	100.61	102.73	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小中学校を対象に、内科・運動器・眼科検診・歯科健康診断を、小学校第1・3学年及び中学校第1学年を対象に耳鼻科検診を学校医により行った。</li> <li>◆結核対策委員会(6月・3月)・心臓検診協議会(9月・2月)・腎臓検診協議会(6月・9月)を年間各2回開催した。</li> <li>◆学校薬剤師による空気、飲料水、プール水質(中学校部活動校のみ)、照度の検査等を行った。</li> <li>◆歯科衛生士によるブラッシング指導を各小学校で学年を決めて1学期14校、2学期29校実施した。</li> <li>◆健康相談は、専門的な観点、立場から学校及び児童・生徒の支援を行った。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	102.73%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	達成継続(ア)
	関連計画	-				

2-⑫	健康診断事業	担当課	学校支援課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額 決算額	38,667 32,972
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
全学校において学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 健康診断受診率 定期健康診断の受診率(受診者数/対象者数 ×100)	実績値[A] (%)	99.55	99.99	99.19		
(目標値の根拠) 対象者全員	目標値[B] (%)	100.00	100.00	100.00		
(めざすべき方向) 	達成度[C] (%)  ※△ならC=A÷B ※◇ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	99.55	99.99	99.19		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全児童・生徒対象に、結核検診、内科検診、運動器検診、眼科検診、尿検査を実施し、歯科健康診断を実施した。</li> <li>◆小学校第1学年及び中学校第1学年対象に、心臓検診を実施した。</li> <li>◆小学校第1・3学年及び中学校第1学年対象に、耳鼻科検診を実施した。</li> <li>◆小学校第5学年及び中学校第1学年の希望者対象に、モアレ撮影検査を実施した。</li> <li>◆結核検診総受診者数：29,056人、総対象者数：29,292人</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	99.19%
	市長公約	-			R4からR5の 達成度の推移	↓
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	-				

2-⑬	中学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	341,870
					決算額	343,338
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。</li> <li>・学校給食の牛乳パックについては、関係部署及び民間事業者と連携し、リサイクルに取り組む。</li> <li>・社会情勢の変化においても、保護者への経済的な負担をかけずに、栄養素をバランスよく摂取しつつ様々な食に触れる献立となるよう、国の交付金を活用し、質を確保した給食提供に取り組む。</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 中学校給食の喫食率		実績値 [A] (%)	35.10	35.20	37.03	
(目標値の根拠) 中学校給食の各年度目標喫食率		目標値 [B] (%)	50.00	50.00	50.00	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※◇なら C=A÷B ※▽なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	70.20	70.40	74.06	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆令和5年度の喫食率については37.03%となり、平成28年度に中学校給食を開始してから最も高い数値となった。また、継続する物価高騰においても国の交付金を活用し、給食費を引き上げることなく、質を確保した給食の提供を行った。全員給食に向けた中学校給食の取組みについては、令和4年12月に策定した「今後の中学校給食に関する方針」における整備手法等が有効であるかを検証するための可能性調査委託を行い、施設整備方針やスケジュールの方向性を決定し、確定した整備手法であるPFI方式で新給食センターの整備を実施するにあたり、アドバイザー事業者との委託契約を実施した。今後は、アドバイザー委託において、PFI事業者選定における公募に向けた審査委員会の開催や実施方針等の策定等に取り組むとともに、本市の特徴を活かした生徒にとってふさわしい中学校給食となるよう、計画的に進めていく。牛乳パックのリサイクルについては、児童生徒に配付する献立表に、リサイクルの工程等を紹介するコラムを掲載し、子どもたちのみならず家庭への環境意識の啓発を行った。</p> <p>◇中学校の全員給食については、令和5年度所信表明や令和6年度市政運営方針で挙げられている事業であることから、今後は中学校給食充実事業とは別に、「中学校給食における全員給食実施事業」として指標を示し取り組んでいく。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫食率を上げることを目標にすることも大切であるが、令和8年度からの中学校給食の全員給食に向けた取り組みの充実を図る施策を目標に考えていただきたい。</li> <li>・中学校給食における調理場の運営方式の検証から、喫食率の向上のための対策の実施による気運の醸成を含め、早期の実現をお願いしたい。その先には、子育て世代の応援も含めての、給食の無償化への下地を築いていただきたいと考えます。</li> </ul>						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	74.06%
	市長公約	平成29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	↑
	関連計画	-				



2-⑭	文化財活用事業	担当課	文化財課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	1,309
					決算額	816
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替え</li> <li>文化財防火デー(市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施)</li> <li>歴史講座、歴史ウォーク(市内文化財めぐり等)</li> <li>特別史跡百済寺跡での築地塀完成記念式典</li> <li>枚方まつりで大阪工業大学の協力を得てAR映像を使った啓発ブースの出展</li> <li>文化財の展示(輝きプラザきらら2階展示ルーム等で発掘調査の出土遺物等を展示、枚方宿での「まちかど歴史展示」)</li> <li>新旧鋳物工場を巡る「鋳物ツーリズム」</li> <li>発掘調査現地説明会</li> <li>刊行物(文化財関係図書等)の発行など</li> <li>出前講座</li> <li>古文書講座</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 歴史関連イベントの参加者数		実績値 [A] (人)	1,649	1,916	2,210	
(目標値の根拠) 過去のイベント(平成18年～前年)の参加者数の平均値を目標値とする(事業統合により、令和2年度から古文書講座・楠葉台場跡の活用事業を加えた)		目標値 [B] (人)	1,188	1,216	1,258	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら C=A÷B ※ <sup>□</sup> なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	138.80	157.56	175.68	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文化財の展示(輝きプラザきらら2階展示ルーム等で発掘調査の出土遺物等を展示)「ひらかたの発掘・いまむかし」148人</li> <li>◆文化財防火デー(旧田中家鋳物民俗資料館)80人</li> <li>◆健康ウォーキングイベントでの百済寺跡展示590人</li> <li>◆市民歴史講座「江戸幕府の摂河治水システムと堤防保全策」27人</li> <li>◆鋳物ツーリズム1回目(コマツ大阪工場)22人、2回目(寿ダイガスト工業(株))19人、3回目(クボタ枚方製造所)15人</li> <li>◆枚方まつりでの文化財課ブース「百済寺跡」AR映像体験300人</li> <li>◆百済寺跡再整備事業築地塀工事見学会1回目(2日間)117人、2回目(2日間)77人</li> <li>◆発掘調査報告会(輝きプラザきらら)38人</li> <li>◆発掘調査現地説明会「禁野本町遺跡」80人</li> <li>◆文化財だよりの発行、出前講座等</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			達成度	175.68%
	市長公約	-			R4からR5の達成度の推移	達成継続(ア)
	実行計画	-				
	関連計画	-				

2-⑮	野外活動センター利用促進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	3,913
					決算額	3,011
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
野外活動センターの利用増をめざし、学校キャンプ(日帰り・宿泊)を実施しやすくするため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 市内小学校のキャンプ利用件数		実績値 [A] (件)	22	22	20	
(目標値の根拠) 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらか多い数		目標値 [B] (件)	25	25	25	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら $C=A \div B$ ※ <sup>◇</sup> なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	88.00	88.00	80.00	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆令和5年度は市内小学校が17校、市内中学校が3校の合計20校の学校キャンプの利用があった。20校以外に2校の利用予定であったが、大雨警報発表などにより中止となった。 ◇バス代の全額補助(各校1回まで)ではなく、バス代の部分的な補助と施設での体験プログラムの補助など、補助のあり方について検討が必要。また、各学校において遠足など校外授業の実施時期については、どこも同じ時期で希望曜日もほぼ同じであることから毎年5月、6月、11月に集中している。限られた期間内での調整となり、希望に添えなかった学校については他の施設に行ってしまうことになる。また、利用促進事業も限られた予算内でできるだけ多くの学校に利用してもらうために予算の使い方や学校負担割合などが課題となっている。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	80.00%
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	↓
	関連計画	-				

未達成事業への対応

事業名		未達成理由	今後の方向性
2-⑥	部活動指導協力者派遣事業	令和5年度から新型コロナウイルスが5類に移行したことを受け、指導者協力者をより多く派遣できるように予算を増額した結果、目標値（予算）に対する実績値の割合が低下した。	令和4年度と比較して派遣回数が増加していることを踏まえて、引き続き、中学校現場における指導協力者派遣の需要を踏まえながら、必要かつ十分な予算を確保していく。
2-⑨	学校給食における地元農産物利用促進事業	学校給食の精米についてはこれまで地元農産物を100%使用していたが、令和4年5月に発生した精米事業者の衛生面の問題以降、本事業者からの購入が見込めない状況が続いており、令和5年度の地元農産物の使用については野菜のみとなったため。	精米事業者の衛生管理体制等への保護者等の理解が得られない限り地元精米の購入は難しい状況である。第3次枚方市食育推進計画は、学校給食で使用する精米が100%地元農産物であることを踏まえて目標値が設定されていたことから、今後、同等程度の目標値設定や目標値の上昇は難しい等の理由から、第4次枚方市食育推進計画においては、地元農産物の使用量の目標設定は行わないこととなり、今後は地元農産物の使用に関して、主要事業として継続するかの検討が必要である。地元野菜の使用については、今後も地元農家と調整の上、可能な限り、学校給食食材として使用していけるよう取り組みを続けていく。
2-⑬	中学校給食充実事業	自動予約や口座振替だけではなく、申し込み忘れにも柔軟に対応し利便性の向上に努めるなどした結果、喫食率は37.03%となった。平成28年度に中学校給食を開始してから最も高い数値となったが、目標値には至らなかった。	中学校の全員給食に向けた取り組みを進めるとともに、利用しやすく魅力ある給食への手法を検討しながら、喫食率向上に向け取り組んでいく。

基本方策2に対する点検評価員による評価

<p>子どもの健康に関する事業や人権に対する意識向上のための研修など、各事業で適切に取り組んでいる。 各事業についての意見は、次のとおりである。</p> <p>2-①人権教育推進研究事業について、研修の実施で完了するのではなく研究事業としての成果をまとめるなど、研究の積み上げを今後に生かしていく効果的な方法に努めていただきたい。</p> <p>2-⑩健康診断事業について、不登校児童生徒に対しても様々な方法でアプローチされていることは評価できる。引き続き、きめ細やかな対応を行い、全員が受診できるよう努めていただきたい。</p>
---

### 基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

本市においては新規採用教職員が増加し、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力等、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

平成26年度からの中核市移行に伴い、大阪府から教職員研修の権限が移譲されました。そのため、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で教職員研修を実施し<sup>①</sup>、「経験年数の少ない教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します<sup>①</sup>。

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人・授業マイスターによる研究授業等により、授業改善につなげること<sup>②</sup>で、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実させる<sup>①③</sup>とともに、学校教育の水準の維持・向上に資するため、業務量を適切に管理することで、教職員の働き方を見直し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保します。

さらに、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善や、「カリキュラム・マネジメント」等の組織運営改善に係る教育課題に対応した研修<sup>①</sup>のほか、情報活用能力の育成のため、ICT活用のねらいを明確にした教職員のICT活用能力の向上に係る研修にも取り組みます<sup>①</sup>。

3-①	枚方市教職員育成事業	担当課	教育研修課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	7,464
					決算額	5,141
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修を多くを本市教育委員会が実施。「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」ことを目標に、「キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「『Hirakata授業スタンダード』の定着と中学校各教科研究への継続的な支援の充実」「人権尊重に基づいた子ども理解と認め合い高めあう集団づくりへの支援の充実」「GIGAスクール構想に基づくICTを効果的に活用した授業改善、5Cの力を育む学びの実現」の4点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。新学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー(学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等)が学校園を訪問し、経験の浅い教員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「GIGAフェス」を実施。各校の代表者や指導主事等で構成する情報教育推進ワーキングチームを中心に、ICT機器の効果的な活用をめざした取り組みを実施。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合		実績値 [A] (%)	96.70	95.00	96.01	
(目標値の根拠) 研修の実質的効果		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※□なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	96.70	95.00	96.01	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆令和5年度は、令和4年度に引き続き、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」を目標に、①キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成、②Hirakata授業スタンダード・授業計画時に大切にしたい5つのCの視点に基づいた授業改善、③人権尊重に基づいた子ども理解と、認め合い高め合う集団づくりへの支援の充実、④研修履歴を活用し対話に基づく教職員研修の受講奨励の4つを重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修をはじめとする教員の経験・職務に応じた研修(基本研修)、教育課題や教科等の専門性を高める研修(専門研修)、専門的な職務を担う教職員の知識・技能の習得と情報活用能力の向上を図る研修(職務研修)を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図った。また、校内研修支援として、研究プランの提案や講師紹介、年間を通して校内研修に指導主事や教育推進プランナー等が継続的に関わった。</p> <p>◆全体を通じて、学び続ける教職員のさらなる育成のため、希望研修を充実させ、教職員が一人ひとりの課題や職務に応じた研修を自ら主体的に受講でき、管理職による研修受講奨励が推進する仕組みを構築した。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<p>・その効果を直接的な数値として見ることは困難である。しかし、児童生徒・保護者を対象とした授業アンケートでは、教員と児童生徒との良好な関係や、教員の頑張りや指導力についての評価が高まってきたそうである。この傾向については、間接的ではあるが事業の成果が表れたものと見なすことができるのではないかと考える。今後とも、児童生徒、保護者に信頼される教員の育成に取り組んでいただきたい。(R4点検評価員会議)</p>						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	96.01%
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	↑
	関連計画					

3-②	授業の達人養成・教科研究事業	担当課	教育研修課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	350
					決算額	135
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>児童・生徒の確かな学力を育むため、高い指導力のある優れた教員の育成を図ることを目的とした「授業の達人養成講座」を実施。2年間の講座受講後、授業マイスターの認定試験を行う。授業マイスターは、示範授業、実践発表を一定の回数行い、その後、指導教諭の資格を有する者が授業の達人の認定試験を受けることができる。</p> <p>●授業の達人養成講座(※段階的に「達人」に認定するシステムを構築する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師として年間を通じて大学教授等、教育のスペシャリストを招聘。</li> <li>・教材研究、学習指導案の検討を行い、年2回の研究授業(公開授業)を実施。</li> <li>・先進地域、先進校への視察を実施。</li> </ul>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 「授業の達人養成講座」の受講者の①理解度 ②満足度		実績値 [A] (%)	①理解度 100.00 ②満足度 97.50	①理解度 100.00 ②満足度 100.00	①理解度 99.53 ②満足度 98.97	
(目標値の根拠) 「授業の達人養成講座」の受講者の理解度と満足度		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※◇なら C=A÷B ※◇なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	①理解度 100.00 ②満足度 97.50	①理解度 100.00 ②満足度 100.00	①理解度 99.53 ②満足度 98.97	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆豊かな人間性と高い専門性を有する優れた教員(「授業マイスター」「授業の達人」)を養成することを目標に、授業の達人養成講座を実施した。</p> <p>◆令和5年度は、2年継続研修の2年目として、『授業の達人養成講座』を予定通り年間12回実施した。さらに、授業の達人の認証について、今後、計画的に実施できるよう、ロードマップを作成し、年度始めに学校へ通知した。</p> <p>◆令和5年度末に令和5・6年授業の達人講座の受講者から20名の授業マイスターを認定した。</p> <p>◇「個別最適な学び・協働的な学び～教師主体の一斉授業からの脱却、「教え」から「学び」への転換～」の実現に向けて、受講者が授業実践し、校内のモデルとなることのできる内容で研修を意識的に実施した。</p> <p>◇授業マイスターの認定については、一定認定者がでていないが、授業の達人の認定は、平成31年度以降認定者がでていない。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<p>・その効果を直接的な数値として見ることは困難である。しかし、児童生徒・保護者を対象とした授業アンケートでは、教員と児童生徒との良好な関係や、教員の頑張りや指導力についての評価が高まってきたそうである。この傾向については、間接的ではあるが事業の成果が表れたものと見なすことができるのではないかと考える。今後とも、児童生徒、保護者に信頼される教員の育成に取り組んでいただきたい。(令和4年度)</p> <p>・「授業の達人養成講座」の受講者の理解度・満足度がともに100%であることは評価できる。今後は、受講者の研修内容の伝達度に着目した指標を設定することについて、検討をお願いしたい。(R5点検評価員会議)</p>						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	99.25%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	↓
	関連計画	-				
3-③	学校園活性化事業【再掲】※基本方針1に記載			担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

未達成事業への対応

	事業名	未達成理由	今後の方向性

基本方策3に対する点検評価員による評価

「『学び続ける教職員』を育成し、枚方子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を持つ教職員の育成をめざして、充実した研修が実施されていると考える。

各事業についての意見は、次のとおりである。

3-②授業の達人養成・教科研究事業について、マイスター認定後、達人認定までの基準に関してロードマップを作成し明確化したことは評価できる。認定に向けて適切なフォローを行いながら質の高い教育を実践する教員の育成に取り組んでいただきたい。

## 基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

障害のある子どもをはじめ、すべての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」という観点から、障害への理解の促進や、ともに育ちあう集団づくり等を踏まえた教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させる<sup>①</sup>とともに、通常の学級においてユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます<sup>①</sup>。

障害のある子どもや、配慮を要する子どもに対する支援ツールとして、タブレット端末等のICTを活用するとともに、タブレット端末の入出力が困難な場合にも対応できるよう、音声文字変換や視線入力システム等の入出力支援装置の整備を進めます<sup>①</sup>。

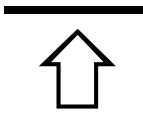
また、平成28年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育環境の整備を進める<sup>①②④</sup>とともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組みます<sup>③</sup>。

さらに、配慮を要する子どもについて、支援教育コーディネーターを中心として、より具体的な個別の教育支援計画の作成・見直しを行う<sup>①②④</sup>とともに、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要なすべての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で支援教育の充実に取り組みます<sup>①②④</sup>。



4-①	支援教育推進事業	担当課	支援教育課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額 決算額	305,631 221,497
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。</li> <li>・児童生徒支援課職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。</li> <li>・小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤講師を加配する。</li> <li>・肢体不自由児介助員を配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、学習等の介助を行う。</li> <li>・特別支援教育支援員を配置し、通級指導教室を新設した小中学校の支援を要する児童・生徒の生活、学習等の補助を行う。</li> <li>・肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。</li> <li>・肢体不自由児童・生徒及び支援学級担任に対して理学療法士による専門的な日常訓練の指導・助言を行う。</li> <li>・支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。</li> <li>・児童・生徒一人ひとりに個別最適な指導を行うために、効果的なアセスメントを実施し、適切な教材を選択できる教育支援ソフトを全小中学校に導入する。</li> <li>・令和5年度及び令和6年度にかけて枚方市支援教育充実審議会を開催し、学識経験者や教職員、市民からなる審議会委員に支援教育の充実に向けて審議して頂く。その審議内容や中間答申を踏まえて次年度の取り組み等を決定していく。</li> <li>・小学校9校、中学校全校へ新たに自校式通級指導教室を設置する。今後の通級指導教室の拡充に向けて、新設の自校式通級指導教室モデル校と共に啓発や取り組みを周知する。</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数		実績値 [A] (回)	117	117	118	
(目標値の根拠) 小・中学校専門家、理学療法士等は予算範囲。リーディングチームは前年度実績の1割増。		目標値 [B] (回)	104	118	120	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>○</sup> ならC=A÷B ※ <sup>◇</sup> ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	112.50	99.15	98.33	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、五常小、西牧野小、落西中、桜丘中に専門家を派遣し、指導・助言した。また、児童生徒支援課職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施した。</p> <p>◆小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、44小学校、19中学校すべてに非常勤講師を加配した。</p> <p>◆肢体不自由児介助員を25人(通年・短期)配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行った。また、肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施し、併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行った。</p> <p>◆学校看護師を32人(通年・短期)配置し、医療的ケアを必要とする児童・生徒の学校における日常生活を支援した。</p> <p>◆特別支援教育支援員を31人(通年・短期〔支援教育補助員〕)配置し、発達に課題のある児童・生徒の学習の補助や学校生活における介助を行った。</p> <p>◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級・通級指導教室の設備整備を行った。</p> <p>◆枚方市支援教育充実審議会を2回開催し、本市の支援教育の充実について、諮問し、審議を行った。</p> <p>◇支援を必要としている児童・生徒に見合う人員(学校看護師、肢体不自由児介助員、特別支援教育支援員)の確保が課題である。特に医療的ケアに従事する学校看護師の人員不足が顕著である。</p> <p>◇支援を必要としている児童・生徒が年々増加しているため、消耗品費、庁用器具費の確保が必要である。</p> <p>◇車椅子など移動に介助が必要な児童・生徒が在籍する学校には階段昇降車を設置しているが、学校施設のエレベーター整備等に関する方針等に基づき、引き続き学校設備の充実に向け取り組んでいく必要がある。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・他市のモデル事業となるよう、今後も引き続き、一人のひとりの教育的ニーズを大切に「ともに学び、ともに育つ教育」の実現に向け、取り組みを進めていただきたい。(R5点検評価員会議)						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	98.33%
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	↓
	関連計画	-				

4-②	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	2,000
					決算額	1,697
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校に在籍する肢体不自由児や腎炎・ネフローゼ児等通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。</li> <li>・市内に在住する支援学校等に在籍する通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。</li> </ul>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>（実績値の内容）</b> タクシーを利用した児童・生徒の人数		実績値 [A] (人)	36	25	28	
<b>（目標値の根拠）</b> 年度当初の通学タクシー利用申請人数		目標値 [B] (人)	29	29	30	
<b>（めざすべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※◇なら C=A÷B ※▽なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	124.14	86.21	93.33	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆毎日利用した児童・生徒 5人 小学生2人、中学生2人、支援学校生1人</li> <li>◆雨天時など必要に応じて利用した児童・生徒 23人 小学生17人、中学生6人</li> <li>◇本事業の趣旨を理解・賛同して、協力依頼に応じるタクシー会社が減少している。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	93.33%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）			R4からR5の 達成度の推移	↑
	関連計画	-				
4-③	枚方市教職員育成事業【再掲】※基本方策3に記載			担当課	教育研修課	

4-④	就学前支援教育推進事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	5,331
					決算額	5,295
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・幼稚園巡回相談を実施し、発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児への個に応じた指導について、専門的な知識・技能をもつ相談員を市立幼稚園及び市内の私立幼稚園・認定こども園に派遣する。相談員が教職員への指導・助言を行うとともに保護者からの教育相談に応じることにより、各園及び家庭との連携を通して、支援教育の一層の充実を図る。</p> <p>就学前の幼児を対象とした言語訓練指導(幼児ことばの教室)を実施し、吃音、構音障害など、主に言語面に課題がある5歳児を対象に、元小中学校通級指導教室担当の指導員が個別指導を行う。</p> <p>・幼稚園に在籍する個別の支援や配慮を要する幼児への指導・支援に関し、特別支援加配員(旧:支援教育担当)及び生活支援員を配置する。また、医療的ケアを必要とする園児への日常生活の支援をする為、看護師を配置する。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 保護者のニーズ(申し込み)に対する各支援事業の実施率		実績値 [A] (%)	100.00	100.00	100.00	
(目標値の根拠) ニーズ(申し込み)に対する実施率100%		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※◇なら $C=A \div B$ ※▽なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児や保護者に対して相談員を派遣するとともに、主に言語面に課題がある5歳児を対象とした言語訓練指導を実施した。</p> <p>◆市内の公私立幼稚園及び認定こども園に対し、相談員を派遣した回数:373回</p> <p>◆幼児ことばの教室の実施回数:224回</p> <p>◆支援等が必要な幼児に対し、支援教育担当職員及び生活支援員を配置した。</p> <p>◆特別支援加配員(支援教育担当)の配置状況:40名 生活支援員の配置状況:12名</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・専門員の巡回等による幼児や保護者に対する相談支援が重要であり、家庭に寄り添った支援を進めていただきたい。(R4点検評価員会議)						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	-				
	実行計画	-			R4からR5の 達成度の推移	達成継続(→)
	関連計画	-				

### 未達成事業への対応

	事業名	未達成理由	今後の方向性

### 基本方策4に対する点検評価員による評価

支援を必要とする児童のみならず、全ての子どもたちへ充実した教育環境の提供をめざして「ともに学び、ともに育つ」という観点で支援教育が進められている。

各事業についての意見は、次のとおりである。

4-①支援教育推進事業について、自校式通級指導教室を導入するなど今後の通級指導教室の拡充に向けての取組みを進めていることは評価できる。また、支援教育充実審議会の答申を踏まえた今後の取組みについても期待したい。

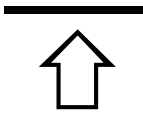
## 基本方策5 幼児教育の充実

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加等、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、様々な体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取組を進める必要があります<sup>①</sup>。

幼児教育の目的は「生涯にわたる人格形成の基礎を養う」ことであり、令和元年度から市立幼稚園で拡充した3歳児保育などに引き続き取り組みながら、「幼稚園教育要領」にある、自立心や協同性、道徳性などの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実現するため、幼児一人ひとりの望ましい発達を育むとともに、学級集団に応じた適切な指導を行います<sup>①②③</sup>。また、幼児期（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）と児童期（小学校）の教育の円滑な接続・連携を図り、学びや発達の連続性を踏まえた取組を推進します<sup>①</sup>

<sup>②</sup>。加えて、幼稚園の預かり保育については、実施時間の延長などの充実を図ってきており、今後も引き続き、保護者の心身のリフレッシュや就労等のニーズに対応できるよう取り組みます<sup>④</sup>。

また、地域の未就園児も含めた親子での遊びの場の提供や、保護者交流の場の提供、さらには子育て相談の取組を推進します<sup>④</sup>。


5-①	幼児教育充実事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	588
					決算額	585
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<p>幼児教育の充実を図ることを目的とし、小学校へのなめらかな接続をめざした幼小連携の推進や、幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供、また、地域の幼児教育のコーディネーター的な役割が果たせるよう、小学校・私立幼稚園・認定こども園・公私立保育所（園）等と連携を図るとともに、未就園児親子が参加できるイベントや子育て講座の開催、育児相談等に取り組む。また、令和4年度に国の採択を受けた「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」の取り組みとして、市がコーディネーターの役割を担いながら、地域就学前児童施設や小学校との関係の構築を図る。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
<b>（実績値の内容）</b> ①または②を達成した幼稚園の延べ園数 ①幼稚園児が小学校生活に親しみ、入学への期待が持てるような活動（学校見学・授業見学・児童との交流・給食体験など）を、年間を通して5回以上実施する ②幼稚園職員と小学校職員が、互いの教育内容や子どもの姿を理解し、教育課程を滑らかにつなぐための合同研修や連携会議を、年間を通して2回以上開催する		実績値 [A] (園)	7	12	12	
<b>（目標値の根拠）</b> すべての市立幼稚園において①及び②を達成する（すべての市立幼稚園において①及び②を達成すれば、延べ園数は6園×2=12となる）		目標値 [B] (園)	12	12	12	
<b>（めざすべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  <small>※△なら C=A÷B</small> <small>※□なら C=(B+(B-A))÷B</small> <small>(小数第三位を四捨五入)</small>	58.33	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<p>◆小学校の空き教室での給食体験や、校庭での散歩及び小学校の教員による授業体験など、幼児が小学校生活に期待や親しみが持てるような活動を実施した。また、併せて幼保こ小連携推進に関して、架け橋期における幼児期や児童期の育ちについて教職員等で合同研修を行ったり、互いの授業を視察できる場を設けるなど、教育・保育内容の相互理解を図った。</p> <p>◆各幼稚園にて見学会を実施し、市立幼稚園の施設や保育内容について周知する機会を設けた。また、子育てに不安がある保護者からの育児相談に対して、個別に対応した。</p> <p>◆「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」の取組みとして、架け橋プログラムに関する全体会を開催し、私立の就学前児童施設57か所に参加いただいた。また、全体会后に、架け橋カリキュラムの開発に向けての会議を校区ごとに開催し、公私の連携を図り、育てたい資質能力を共有した。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<p>・小学校への円滑な接続が重要であり、引き続き、授業見学や教員同士の連携の充実を図り、幼稚園児が進学後も安心して小学校生活を送れるよう取り組んでいただきたい。（R4点検評価員会議）</p> <p>・小学校や保育園との連携が進んだ点は評価できる。今後とも、私立の就学前施設との連携を図りながら着実に事業を進めていただきたい。（R5点検評価員会議）</p>						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	100.00%
	市長公約	-				
	実行計画	-			R4からR5の 達成度の推移	達成継続（→）
	関連計画	-				
5-②	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載			担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	

5-③	学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課
-----	------------------------------	-----	-------------------

5-④	幼稚園保護者支援充実事業 (預かり保育事業)	担当課	公立保育幼稚園課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	52,950
					決算額	56,972

事業概要(令和5年度の取り組み内容)

幼稚園で預かり保育を実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。また、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として幼児教育教室を実施し、家庭の教育力を高めるともに、子育て不安の軽減等を図る。

指標		R3年度	R4年度	R5年度
<b>(実績値の内容)</b> 保護者のニーズ(申し込み)に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率	実績値 [A] (%)	100.00	100.00	98.30
<b>(目標値の根拠)</b> ニーズ(申し込み)に対する実施率100%	目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00
<b>(めざすべき方向)</b> 	達成度 [C] (%) ※ <sup>△</sup> なら C=A÷B ※ <sup>◇</sup> なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	98.30

令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)

◆就労支援の一環として、枚方幼稚園、田口山幼稚園、さだ幼稚園、高陵幼稚園の枚方版子ども園4園において幼稚園給食を実施した。また、配膳室整備などを行い、令和5年10月から、樟葉幼稚園、香里幼稚園での幼稚園給食の提供を開始したことにより、全ての公立幼稚園において給食を実施することができた。

◇枚方幼稚園、香里幼稚園の預かり保育において、定員を上回る申込みがあり、抽選を行った日があったことから、目標値を達成することができなかった。この結果を踏まえ、令和6年度に、枚方幼稚園において預かり保育の定員拡充の試行実施を行う。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	98.30%
	市長公約	-		
	実行計画	-	R4からR5の 達成度の推移	↓
	関連計画	第2期枚方市子ども子育て支援事業計画		

## 未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性

## 基本方策5に対する点検評価員による評価

幼児教育の充実に向けた取組みのほか、子育て相談や幼稚園給食など保護者支援にも取り組んでおり、幅広い取組みが実施されていると考える。今後も、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取組みを進めるとともに、幼児期から児童期の円滑な接続を図り、学びの連続性を踏まえた取組みの推進に尽力いただきたい。

各事業についての意見は、次のとおりである。

5-①幼児教育充実事業については、幼稚園等の就学前施設と小学校での合同の研修会や互いの授業視察などを通じて相互理解を深め、小学校へのスムーズな接続に向けて連携していることがうかがえる。

5-④幼稚園保護者支援充実事業（預かり保育事業）については、定員拡充の試行実施を行うとのことだが、引き続き保護者ニーズに沿った利用しやすい事業への拡充に努めていただきたい。



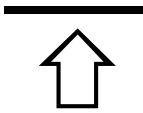
## 基本方策6 社会に開かれた学校づくりの推進


近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「社会に開かれた学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みやコミュニティ・スクール等、学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の構築に取り組みます<sup>①</sup>。また、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」の実現に取り組みます。

学校園の信頼の醸成や課題解決の促進のため、全国学力・学習状況調査の結果や分析をはじめ、「学校いじめ防止基本方針」や校内における相談体制等について、ホームページに掲載するなど、学校の取組や子どもの状況等の情報を積極的に公表し、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげていきます<sup>①②</sup>。また、学校と保護者との連絡体制について、ミルメールの改善、双方向の連絡手段の構築に取り組みます。

教育に関わる課題が多様化・複雑化する中、より地域や保護者との協力関係を築きながら、学校の組織としてのあり方の見直しや業務の改善を進める<sup>①</sup>ことで、「チーム学校」としての機能を果たせるよう、学校園ガバナンスの確立に取り組みます。

6-①	コミュニティ・スクール推進事業	担当課	教育指導課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	3,080
					決算額	2,061
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>枚方市では保護者及び地域住民等からなる学校運営協議会を設置した学校を枚方市におけるコミュニティ・スクールと定義し、協議会の最大の目的を「校長の学校運営に対して必要な支援を行うこと」としている。地域全体で教育を実現する仕組みの構築をめざし「学校と家庭、地域が連携・協働し、子どもたちの健やかな成長を支えていく学校づくりを進めていくこと」をねらいとした研修会等を定期的で開催し、枚方市におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取組み等の発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>(実績値の内容)</b> アンケートにおける「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域のひととの協働による活動を行いましたか」の設問に対して肯定的回答をした学校長の割合		実績値 [A] (%)	96.00	100.00	95.45	
<b>(目標値の根拠)</b> 肯定的回答の割合100%		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
<b>(めざすべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※□なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	96.00	100.00	95.45	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全44小学校において、年間3回以上の学校運営協議会を開催し、地域全体で協働して学校運営に取り組んだ。また、教員のコミュニティスクール担当者を全校に配置し、学校の課題を地域と共有するとともに、コミュニティスクール担当者対象の研修も継続して行った。</li> <li>◆10月にコミュニティスクール担当者や管理職を対象とした研修を実施し、2月には3校区の取組みを好事例として共有する等、活動の充実を図った。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールについては、地域全体で協働して学校運営に取り組む体制が構築されていることが伺える。今後、子どもたちの学びを更に豊かにするために、コミュニティ・スクールなどによる「地域とともにある学校づくり」を推進していく必要がある。全国的にもコミュニティ・スクールに関する取組みが推進されている中で、今後も、好事例校に着目したデータ分析も行いながら、地域の方々力を活用した教育の充実を図っていただきたい。(R4点検評価員会議)</li> <li>・今後は、学校や子どもたちへの支援にフォーカスをあてた取組みの充実を期待している。あわせて、新たな指標の検討もお願いしたい。(R5点検評価員会議)</li> </ul>						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	95.45%
	市長公約	平成29・30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	↓
	関連計画	-				

6-②	教育委員会広報事務	担当課	教育政策課 教育研修課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	6,294
					決算額	6,294
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
児童・生徒、保護者、市民にとって必要な情報を適切に発信するため、学校の取り組みや子どもの状況のほか、教育委員会での取り組み等について、学校ブログやホームページを用いて積極的に公表するとともに、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげる。						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>（実績値の内容）</b> 1か月あたりの平均ブログ閲覧数（全小中学校と委員会）		実績値 [A] (件)	193,640	222,811		
<b>（目標値の根拠）</b> 前年度実績からの5%増（アクセス数を増加させることで、開かれた学校づくりを推進するもの）。 ただし、令和4年度は学校当たり月3,000件のアクセス数を見込み3,000件×64か所＝192,000件とする。		目標値 [B] (件)	192,000	201,600		
<b>（めざすべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※◇なら C=A÷B ※◇なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.85	110.52		
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校における事件や事故、自然災害の際の対応を保護者や地域の方々に常日頃から共有することを目的に、「非常変災時における措置」「学校いじめ防止基本方針」「学校危機管理マニュアル」の3点について、学校ブログに掲載した。</li> <li>◆各学校の教育計画や学校の抱える課題、日々の教育活動や非常時における対応等について、学校園ホームページ・ブログ等を有効活用するなど、積極的に学校園の取組や子どもたちの状況等の情報の公表に努め、地域・保護者から信頼される学校園づくりにつながっている。</li> <li>◆ブログへのアクセス数については、約230万アクセスあり、1校当たり年間約3万6千アクセスがあった。</li> <li>◆修学旅行やキャンプなど、校外学習の様子を行った先から投稿した時は、普段の閲覧数を大きく上回っている学校もあり、保護者の関心も高い。</li> </ul> ◇投稿数が少ない学校では月50件、多い学校では月80件と差が出た。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・ブログ等を通じて学校の日々の様子が簡単に知ることができるようになることで、学校がより身近な存在になると考える。引き続き、子ども・地域・教職員の元気な様子が伝わる、ポジティブな情報発信の充実を期待する。（R5点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	110.52%
	市長公約	-				
	実行計画	第2期実行計画（令和2年度～令和5年度）			R4からR5の達成度の推移	達成継続（ア）
	関連計画	-				

### 未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性

### 基本方策6に対する点検評価員による評価

「社会に開かれた学校づくり」として、地域と協働して学校運営に取り組む体制が構築されているほか、学校の取組みや子どもの状況等の積極的な情報発信により、社会に開かれた学校づくりの推進が図られていることが伺える。

各事業についての意見は、次のとおりである。

6-②教育委員会広報事務について、ブログやホームページを活用し、学校や子どもたちの様子を積極的に発信することで、地域や保護者等との協力関係構築に向け努力が払われている。今後も積極的な情報発信や地域との協働を進め、開かれた教育委員会、学校をめざして取り組んでいただきたい。

## 基本方策7 学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境など様々な理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりに向けて、オートロックや機械警備等による学校施設内の安全確保<sup>①</sup>や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携のほか、防犯カメラや、専用端末を使用した子どもの位置情報履歴確認サービス等による通学路の安全対策の強化を図ります<sup>②</sup>。また、不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用する<sup>③</sup>とともに、同システムの改善を通じて安全・安心な体制の構築に努めます。

さらに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子ども自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します<sup>④</sup>。


新型コロナウイルス感染症等への対応として、必要な消耗品等の配備や、消毒作業の実施など、状況に応じた安全対策を図るとともに、子どもたちには、自分や周囲の大切な人を守るための実践力を育てます。

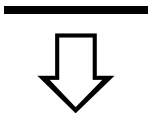
いじめは重大な人権問題であるとの認識のもと、被害者が精神的苦痛や不安を克服できるよう支援するとともに、加害者への教育的配慮等、学校園において誠実かつ丁寧に組織的対応を行います<sup>④⑤⑥⑦⑧⑨</sup>。いじめの防止、早期解決に向けては、SSW等の専門家に加え、新たに市が委嘱するスクールロイヤーを活用します<sup>⑤⑨</sup>。

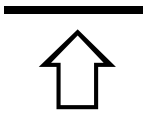
児童・生徒の不登校の兆しにも留意しながら、より一層の未然防止に努めます<sup>⑦⑧⑨⑩</sup>。あわせて、不登校児童・生徒への対応としては、登校しやすい学校づくりを進めるとともに、社会的自立をめざし学校への復帰以外の選択肢があることを含め、一日も早く社会との関わりを取り戻すことができるよう支援を進めます<sup>⑦⑩</sup>。また、これまでの対応に加え、ICT等を活用した学習活動など個に応じた取組を進めます。

子どもの貧困対策については、子育て家庭への経済的な負担軽減や学習支援、相談支援など様々な施策を横断的かつ重層的に活用しながら、適切な支援を進めます<sup>⑦⑨</sup>。

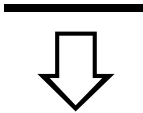
また、不登校やひきこもり、児童虐待、子どもの貧困等、支援を必要とする児童・生徒に関わる様々な事象に対しては、未然防止や早期対応ができるよう、行政各分野が持つ子どもの情報の共有化を適切に進めるとともに、今後、制定する「(仮称)子どもを守る条例」を踏まえながら、関係部署、関係機関、地域とともに総合的な取組を進めていきます<sup>⑤⑨⑩</sup>。

7-①	小学校安全監視事業	担当課	新しい学校推進課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	34,393
					決算額	32,934
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し、安全監視を実施する。</li> <li>来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置（安全監視員）を行い、人の目による安全監視を行う。</li> </ul>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>（実績値の内容）</b> 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数		実績値 [A] (件)	0	0	0	
<b>（目標値の根拠）</b> 全小学校の侵入事案なし		目標値 [B] (件)	0	0	0	
<b>（めざすべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  <small>※△なら C=A÷B</small> <small>※□なら C=(B+(B-A))÷B</small> <small>(小数第三位を四捨五入)</small>	100.00	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<p>◆児童の安全・安心な学習環境を確保するために、監視カメラ等機器などの修繕を、学校からの要望に応える形で行った。</p> <p>◆来校者の多い時間帯や児童の下校時には、機器の活用だけでなく安全監視員を配置し、人の目による監視を行った。また、学期毎に安全監視日誌を集め不審者等がないかを確認する等により、児童在校中の小学校への不審者侵入件数が0件である等、子どもの安全を確保する環境を維持している。</p> <p>◇安全監視員について、地域の方々の協力により成り立っているが、現状、担い手不足の問題がある。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事件等がなければ、達成度はずっと100%になる。例えば予定通りカメラの修繕を行えたかどうかなどを指標とすればいいのではないか。（R4点検評価員会議）</li> </ul>						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	-				
	実行計画	-			R4からR5の達成度の推移	達成継続（→）
	関連計画	-				

7-②	通学路安全対策事業	担当課	新しい学校推進課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	22,999
					決算額	21,854
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通専従員、交通指導員を配置し、児童の登下校の安全を図る。 「枚方市子ども交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、警察等と連携した通学路の安全保持を実施する。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 交通専従員、交通指導員の配置人数 (信号機の設置等で安全確保できたところから、交通指導員等を順次廃止する)		実績値 [A] (人)	59	60	60	
(目標値の根拠) 前年度実績		目標値 [B] (人)	59	59	60	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※□なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	98.31	100.00	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆小学校19校(31箇所)に60人の交通専従員・交通指導員を配置し、登下校時における児童の安全を図った。 ◆小学校を通じて報告のあった危険箇所に対して、路面標示やグリーンラインの施行、警察による取り締まり等の対策を実施するとともに、ハード対策や警察での対応が困難であった箇所については、学校に対して児童への指導や通学路の変更検討等を行うよう依頼した。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	↑
	関連計画	-				

7-③	小中学校安全対策事業	担当課	支援教育課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	6,691
					決算額	5,153
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施する。</li> <li>・小中学校においては、一般の安全指導の他、交通安全教室等を実施する。</li> <li>・いのちの大切さを学ぶ教育を在学中に受けられるように、全小学校の高学年を対象に小学校において、胸骨圧迫とAEDの取り扱いに特化した救命講習を実施する。</li> <li>・小学校において防災キャンプを実施する。</li> <li>・学校園において、メール配信システムを活用し、不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を関係機関、保護者に提供する。</li> </ul>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>（実績値の内容）</b> 小中学校における交通安全教室の実施回数		実績値 [A] (校)	76	107	107	
<b>（目標値の根拠）</b> 全中学校（19回）、小学校歩行交通安全教室（44校）自転車交通安全教室（44回）		目標値 [B] (校)	109	107	107	
<b>（めざすべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※□なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	69.72	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全小中学校で危機管理マニュアルを点検し、安全対策に係る避難訓練を実施した。</li> <li>◆小学校1年生を対象に全小学校で「交通安全教室」を実施した。</li> <li>◆全小中学校で「自転車教室」を実施した。</li> <li>◆小学校の高学年児童を対象に、全校で救命講習を実施した。</li> <li>◆長尾小学校、春日小学校、東香里小学校で防災キャンプを実施した。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）			R4からR5の 達成度の推移	達成継続（→）
	関連計画	-				





7-④	生徒指導充実事業（枚方市生徒指導体制充実事業）	担当課	教職員課 児童生徒課	事業費（千円） ※人件費のみ	予算額	63,405
					決算額	47,631
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<p>・生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、警察等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。</p> <p>・生徒指導体制を構築や強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させ、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。</p> <p>・各学校において策定はいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル（体罰防止編）を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>（実績値の内容）</b> 中学校全体の暴力行為の発生件数  （参考指標1）※（参1）と表記 小学校全体の暴力行為の発生件数		実績値 [A] （件）	82  （参1）93	36  （参1）93	41 ※1学期末時点 （参1）35	
<b>（目標値の根拠）</b> 暴力行為発生件数が前年度より10%減少  （参考指標1） 暴力行為発生件数が前年度より10%減少		目標値 [B] （件）	36  （参1）76	74  （参1）84	32  （参1）93	
<b>（めざすべき方向）</b>  		達成度 [C] （%）  ※◇なら C=A÷B ※▽なら C=(B+(B-A))÷B （小数第三位を四捨五入）	0.00  （参1）0.00	151.35  （参1）89.29	71.88  （参1）162.37	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<p>◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、令和5年度は中学校7校に市費負担任期付教員を1人ずつ配置し、4校には非常勤講師を1人ずつ配置した。現在、生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ的確に指導を行っている。</p> <p>◇1学期末時点で、実績値が目標値を超えたため、令和5年度においては未達成となった。原因については、各学校が暴力行為のレベルを落とし、丁寧に対応している結果であると考えられる。また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、様々な学校行事がコロナ禍以前同等に戻る中、児童生徒間の接触や交流が活発になったことで、本来体験できていた経験等の不足により、うまくコミュニケーションが取れずに暴力行為へ発展してしまうケースもみられた。今後については、繰り返しの暴力を防ぐことはもちろん、そもそも暴力行為に至ることのないよう、日頃から生徒の自己肯定感を高める発達支持的生徒指導を推進していく必要がある。</p> <p>加配講師（任期付講師）配置校 令和5年度 第一中、第四中、津田中、中宮中、山田中、桜丘中、蹊跼中 ※（非常勤講師）第二中、枚方中、楠葉中、楠葉西中</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<p>・生徒指導充実事業については、中学校での暴力行為の増加は問題と考える。コロナ禍での生徒のストレス増加も原因の1つかも知れないが、詳細な分析と対策が必要である。また、近年の傾向から、小学校での暴力行為についても、今後、注視していくべきである。（R4点検評価員会議）</p> <p>・小学校の暴力件数が年々増加し、中学校の暴力件数を超える状況である。今後子どもたちの様子を見守りながら、対応方法の分析をお願いしたい。（R5点検評価員会議）</p>						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	71.88%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）			R4からR5の 達成度の推移	↓
	関連計画	-				


7-⑤	いじめ問題対策事業	担当課	児童生徒課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	970
					決算額	728
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・枚方市の関係部課と大阪府子ども家庭センターや警察等外部関係機関に属する者で構成される枚方市いじめ問題対策連絡協議会の定例会を開催する。</li> <li>・枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年2回開催する。また、必要に応じて臨時会を開催する。</li> <li>・「ストップ!いじめ」全小中学校の新入生の保護者を対象に、いじめ問題に対する啓発冊子として配付する。</li> <li>・児童生徒支援課にいじめ対策グループを設置(弁護士、スクールソーシャルワーカーも配置)し、人権政策室に設置されたいじめ対策グループと連携して学校のいじめ対策の強化を図る。また、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、事後の迅速かつ適切な対応が行えるよう、教育委員会の体制強化とともに、いじめ重大事態が発生した場合の調査に係る体制について整備する。</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) いじめの発生日の次年度の6月末時点の認知したいじめの解消率(解消件数/認知件数)		実績値 [A] (%)	小 98.78(1,294/1,310) 中 95.74(292/305)	小 99.08(2,699/2,724) 中 94.29(463/491)	小 99.77 (3,402/3,410) 中 98.74 (939/951)	
(目標値の根拠) 年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小・中学校合わせた解消率とする。		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%) ※△ならC=A÷B ※□ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	小 98.78 中 95.74	小 99.08 中 94.29	小 99.77 中 98.74	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の定例会は、1回目は9月4日、2回目は3月19日に開催した。</li> <li>◆「枚方市学校いじめ対策審議会」は、5月23日、6月13日、7月24日、8月29日、9月26日、11月7日、12月5日、2月6日、3月5日に開催した。</li> <li>◆家庭と連携した「いじめ問題」防止の啓発のため、「ストップ!いじめ」を貸与しているタブレット端末に配信した。</li> <li>◆枚方市いじめ防止基本方針に基づきいじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けて取り組んだ。</li> <li>◆各学校においては、学期に1回以上、児童・生徒に対するいじめアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止に努めた。また、生起したいじめ事案は組織的に対処し、解消に向け、取り組んだ。</li> <li>◆生起したいじめ事案については、認知件数及びいじめの態様等の報告を11月から毎月行った。</li> <li>◇いじめ案件が年度を超えて発覚することもある。普段から学校や家庭の、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けての取り組みを促していくために、いじめ防止啓発リーフレットを作成し、全家庭に配付した。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度においては、目標値である100%に近い解消率を示しており、また、事務局によると、年度末時点では、前年度比で約10%解消率が高くなったとのことである。いじめは起こらないことが第一であるが、残念ながら発生した場合には、引き続き早期解決に努めていただきたい。(R4点検評価員会議)</li> </ul>						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	99.26%
	市長公約	平成28・29・30年度・令和2・3年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	↑
	関連計画	-				

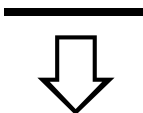
※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

7-⑥	スクールアドバイザー派遣事業	担当課	児童生徒課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	240
					決算額	405
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<p>●スクールアドバイザーの業務 事件、事故等緊急を要する事例に対しての派遣を行っている。</p> <p>●スクールアドバイザーとして派遣する者 臨床心理士等の専門的な知識・経験を有する者の中から、児童生徒支援課が依頼した者</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>（実績値の内容）</b> スクールアドバイザーの派遣要請に対して、実際にスクールアドバイザーを派遣した割合 （派遣件数/派遣要請件数）		実績値 [A] (%)	100.00 (17/17)	100.00 (11/11)	100.00 (27/27)	
<b>（目標値の根拠）</b> 派遣要請に対して、実際に派遣した割合		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
<b>（めざすべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※□なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<p>◆スクールアドバイザーの派遣要請回数：27回</p> <p>◆スクールアドバイザーを派遣した回数：27回</p> <p>◆派遣した学校…山田小・伊加賀小・西長尾小・田口山小・樟葉小・第四中・杉中</p> <p>◆児童生徒の心のケアだけでなく、保護者や教職員のカウンセリングを行い、助言やコンサルテーションを行ってもらった。</p> <p>◆どの学校からも「専門家から適切なアドバイスをもらった」という評価を受けた。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）			R4からR5の達成度の推移	達成継続（→）
	関連計画	-				

7-⑦	教育相談事業	担当課	児童生徒課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	9,655
					決算額	10,433
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>●子どもの笑顔を守るコール(いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン)          幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。(平日 9:00~17:00)</p> <p>●継続教育相談          幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。(要予約 月~金)</p> <p>●メンタルヘルス相談          教職員に対するメンタルヘルス相談を行う。(要予約 水の午前、午後)</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 電話、来館による年間相談延べ件数(子どもの笑顔を守るコール、教育文化センター内での継続教育相談、教育文化センター内でのメンタルヘルス相談の延べ件数)		実績値 [A] (件)	2,268	2,009	1,972	
(目標値の根拠) 子どもの笑顔を守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数の前年度実績		目標値 [B] (件)	1,865	2,268	2,009	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※△なら $C=A \div B$ ※□なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	121.61	88.58	98.16	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆児童生徒支援課からの周知に加えて教職員課からの校長会等での周知もあり、50件の教職員のメンタルヘルスにかかる相談を受けた。</p> <p>◇教職員のメンタルヘルス相談件数の増加に伴い、相対的に保護者等の相談を受け付けにくい状況も出てきている。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	98.16%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度~平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	↑
	関連計画	-				

7-⑧	「心の教室相談員」配置事業	担当課	児童生徒課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	8,385
					決算額	8,267
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
全小学校に、「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行う。						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 心の教室相談員の年間総配置回数	実績値 [A] (回)	1,657	1,622	1,621		
(目標値の根拠) 小学校1校あたりの平均配置回数を37回	目標値 [B] (回)	1,665	1,628	1,628		
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%)  ※△なら $C=A \div B$ ※◇なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	99.52	99.63	99.57		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆心の教室相談員の総配置回数:1621回 ◆1回の活動時間は4時間。1校あたり年間35回を年度初めに配当し、後期に学校から希望を取り、平均2回の追加配当を行った。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	99.57%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	↓
	関連計画	-				

7-⑨	福祉・教育ソーシャルワーク事業	担当課	まるっとこどもセンター	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	57,228
					決算額	31,826
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士または精神保健福祉士の資格を有するSSWを、7か所の拠点校に配置</li> <li>・配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応</li> <li>・教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法に基づく教職員への相談援助</li> <li>・小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進</li> <li>・学校と関係機関等との連携のコーディネート</li> <li>・スクールカウンセラーとの連携</li> <li>・小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築</li> <li>・拠点校以外の学校への巡回(学期に1回程度)による、児童・生徒の見立てやプランニング等。</li> <li>・各種研修会、連絡会等への参加</li> <li>・SSWに対し、法律、福祉、心理、教育の専門的見地から指導助言を実施する、スーパーバイザー(SV)の設置</li> <li>・相談支援体制拡充のためのSSWの増員</li> </ul>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) スクールソーシャルワーカー等の活動回数		実績値 [A] (回)	957	999	1,335	
(目標値の根拠) 【R3年度】 432回 (SSW3人×週3日×48週) 576回 (SSW3人×週4日×48週) 【R4年度】 288回 (SSW2人×週3日×48週) 768回 (SSW4人×週4日×48週) 【R5年度】 144回 (SSW1人×週3日×48週) 1152回 (SSW6人×週4日×48週)		目標値 [B] (回)	1,008	1,056	1,296	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら $C=A \div B$ ※ <sup>□</sup> なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	94.94	94.6	103.01	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆子ども相談課主催で、拠点校の管理職やSSW担当教諭が出席する連絡会を4回実施。</p> <p>◆福祉的手法に基づく、アセスメントシートやケース会議の在り方等についての教職員向け研修を4回実施。</p> <p>◆SSWSVによる拠点校への研修を4回実施。</p> <p>◇SSWの人員が少ないため、拠点校以外の担当校からの派遣要請への対応が課題。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	103.01%
	市長公約	平成28・29年度・令和2年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	↑
	関連計画	-				

7-⑩	不登校児童・生徒支援事業	担当課	児童生徒課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	14,109
					決算額	13,080
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の兆候が見えた児童・生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めるとともに、不登校児童・生徒に対して、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援などを行い、不登校児童・生徒に対する適切な支援を行う。</li> <li>・枚方市不登校支援協力員連絡会を開催し情報交換を図る。</li> <li>・月1回中学校区ごとに小中学校間の情報交流を行う。</li> <li>・1人1台貸与されているタブレット端末をツールとして、不登校児童・生徒に対し、学習の保障のため、タブレットドリルの配信やオンライン授業を行う。また、双方向で学校と児童・生徒とコミュニケーションが取れるよう図る。</li> </ul> <p>●適応指導教室入室児童・生徒 学習活動・体験活動・創作活動等、社会的自立をめざした支援・指導を行う。 ・訪問指導：学生指導員が家庭訪問を行い、主体的な活動への支援を行う。 ・馬とのふれあい体験：馬の世話を通して、不登校状態にある児童・生徒の指導・支援を行う。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>(実績値の内容)</b> 市内全小中学校における不登校出現率(5月1日現在の全小中学校在籍人数に対して、不登校の欠席が30日以上の子どもの合計)		実績値 [A] (%)	中 5.79 小 1.39	中 6.35 小 1.81	中 6.87 小 2.29	
<b>(目標値の根拠)</b> 公表されている府の公立小中学校過去5年の不登校出現率の平均		目標値 [B] (%)	中 3.74 小 0.62	中 3.92 小 0.74	中 4.40 小 0.92	
<b>(めざすべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※◇なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	中 45.19 小 0.00	中 38.01 小 0.00	中 43.86 小 0.00	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆枚方市近郊の新たなフリースクールを不登校支援ガイドに追記した(令和6年1月)。</li> <li>◆不登校支援協力員連絡会を実施し、校内適応指導教室について情報共有の機会を持った(7月18日、2月26日)。</li> <li>◆適応指導教室「ルポ」において、MinecraftEducationを使った自宅からも参加できるオンライン支援を7月から実施している。</li> <li>◆9月には、不登校支援ガイドを周知し、学校内外での支援について発信した。</li> <li>◆9月から、適応指導教室「ルポ」において、民間施設を活用したeスポーツに触れる体験を実施している(社会とのつながりを意識)。</li> <li>◆9月から、公民連携プラットフォームを活用し、学校の空き教室や公共施設を使った居場所づくりについて取組みを進めている。</li> <li>◆10月から、枚方市の児童生徒が通っている他市のフリースクールへの訪問を実施。</li> <li>◆ブログ、Googleclassroomを活用し、適応指導教室「ルポ」の活動を積極的に発信している。</li> <li>◇適応指導教室「ルポ」の登録者は85名となっており、令和4年度の年間の登録人数を上回っている。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度においては、大阪府下では不登校児童数は前年度から横ばいであるが、枚方市は増加傾向にあり課題と考える。原因分析を行ったうえで、例えば地域の力を活用して、問題解決につなげる実践などを研究していただきたい。(R4点検評価員会議)</li> <li>・枚方市における不登校の児童・生徒の数は、年々増加している。児童・生徒が安心して過ごすことのできる居場所づくりを推進するとともに、不登校になってしまった児童・生徒が社会に取り残されることがないよう、地域や関係機関との連携も含め、児童・生徒が常にどこかにつながっている状況をつくっていただきたい。(R5点検評価員会議)</li> </ul>						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	21.93%
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	↑
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

## 未達成事業への対応

事業名		未達成理由	今後の方向性
7-④	生徒指導充実事業（枚方市生徒指導体制充実事業）	年度実績を確定させるのは文部科学省、大阪府とのすり合わせ後。現時点では1学期末時点（9月30日時点報告分）でしか出せないため。	令和6年8月以降に、実績が確定次第、数値を修正する。
7-⑩	不登校児童・生徒支援事業	不登校の背景は様々で、また各校、不登校状態の児童生徒への手立てを講じているが、年間30日を超える児童生徒数が増加している現状にあるため。	学校復帰のみをめざすのではなく、学校内外の施設等での相談・指導等が受けられていない児童生徒を減らし、個に応じた不登校支援へつなげていく。

## 基本方策7に対する点検評価員による評価

子どもたちの安全・安心な学びの環境を整えるための取組みについては、今後も継続するとともに、拡充を期待したい。また、いじめや暴力行為などの問題行動、不登校児童生徒が増加傾向にある中、各学校への専門家等の配置や家庭への啓発活動など課題解決への糸口となる取組みについては引き続き実施し、発達支持的生徒指導に努められたい。

各事業についての意見は、次のとおりである。

7-④生徒指導充実事業（枚方市生徒指導体制充実事業）について、全国的にも暴力行為が増えている状況を踏まえて枚方市の状況の正確な把握と原因分析を進め、事後の指導だけでなく、未然防止にも重点を置いた対応を検討いただきたい。

7-⑦教育相談事業について、これまで相談件数が少なかった教職員のメンタルヘルス相談件数が積極的な周知により増えたことは評価するが、働き方改革の視点も含めて教職員の負担軽減を進め、児童生徒とかかわる時間の確保に努めていただきたい。

7-⑩不登校児童・生徒支援事業について、不登校児童・生徒の半数が社会との関わりがない状況の中、引き続き様々な取組みを通じて公的サポートとつながることができる支援に尽力いただきたい。



## 基本方策8 学びを支える教育環境の充実

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進等、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取組が必要です。

令和2年3月に策定した「枚方市学校整備計画」に基づき、トイレの洋式化・ドライ化や校舎の長寿命化改修などの計画的な整備を進めます<sup>①</sup>。


空調設備については、令和2年度で終了する「枚方市学習環境整備PFI事業」の検証を踏まえ、令和3年度以降、より効果的・効率的な維持管理・更新を行うとともに、学校体育館への空調設備の計画的な整備が図られるよう取り組みます<sup>②</sup>。また、適正な学校規模とする学校配置等の適正化に取り組みます<sup>③</sup>。

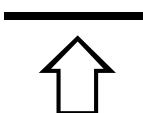
また、ICTを効果的に活用したわかりやすく深まる授業や個に応じた家庭学習の充実を実現するため、教職員・児童・生徒に対し、一人一台のタブレット端末や周辺機器等を配備するなど、教育の情報化を推進します<sup>④</sup>。

また、教育委員会と学校とが、今まで以上に一体となって学校運営を進めていくため、ICT等を活用したより効率的な情報共有や連絡体制の確立をめざします。

さらに、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し通知表や指導要録等の事務処理を軽減する<sup>⑤</sup>とともに、より効果的・効率的な学校運営に向けての見直しや、教職員の健康保持等、勤務環境の整備に取り組みます。

衛生面に配慮した安全で安心な給食を安定的に提供する<sup>⑥</sup>ため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な更新整備に取り組みます<sup>⑦</sup>。

8-①	学校整備・保全事業	担当課	施設計画課・施設整備課・施設管理課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	4,468,441 (内R4から繰越3,785,692)
					決算額	3,545,393
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「枚方市学校整備計画」に基づき、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全を行う。</li> <li>・学校トイレをドライ化し洋式トイレに改修するとともにバリアフリートイレを整備する。</li> <li>・エレベーターについて、本年3月に策定した「学校施設のエレベーター設置等に関する方針」に基づき、3校の実施設計と1校の工事を進める。</li> <li>・直営作業による小中学校のグラウンド改修を行う。</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
<b>（実績値の内容）</b> 枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの改修工事実施箇所（系列）数		実績値 [A] (件)	32	31	35	
<b>（目標値の根拠）</b> 枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの計画対象箇所（系列）数		目標値 [B] (件)	32	31	35	
<b>（めざすべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら C=A÷B ※ <sup>□</sup> なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「枚方市学校整備計画」に基づいた設備の保全工事27件について全ての工事を完了した。</li> <li>◆「枚方市学校整備計画」に基づいた建築の保全工事13件、学校トイレの保全工事35件について全ての工事を完了した。</li> <li>◆「学校施設のエレベーター設置等に関する方針」に基づいた実施設計3校については完了し、工事1校について、現在実施中である。</li> <li>◆直営作業によるグラウンド改修を小学校5校、中学校2校で実施した。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・学校トイレのドライ化と洋式化、及び多目的バリアフリートイレの整備を計画的に推進している。（R4点検評価員会議）						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	13. 少人数教室の整備、学校園トイレの洋式化、学校体育館への空調設備の設置、単独調理場のドライ化				
	実行計画	第2期実行計画（令和2年度～令和5年度）			R4からR5の 達成度の推移	達成継続（→）
	関連計画	枚方市学校整備計画				

8-②	学校空調設備整備・維持管理事業	担当課	施設計画課 施設整備課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	1,518,892 (内R4から繰越867,871)
					決算額	946,487
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の教室等の空調設備の更新及び点検・清掃・修理等の維持管理を実施する。</li> <li>・小中学校体育館62棟への空調設備を整備する。また、整備後の点検・清掃・修理等の維持管理を実施する。</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
<b>(実績値の内容)</b> 空調設備の維持管理室数に対するの実施室数		実績値 [A] (室)	2,521	2,495	2,504	
<b>(目標値の根拠)</b> 小中学校における空調設備の維持管理室数		目標値 [B] (室)	2,521	2,495	2,504	
<b>(めざすべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※◇なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体育館空調設備整備については、9月30日時点で事業者選定を終え、仮契約を締結し中学校10校の整備が完了した。整備後、点検等の維持管理を実施。</li> <li>◆維持管理については、フロン法に基づくフロン点検を、年間4回実施した。フィルター清掃を年間2回実施した。保守点検を年間1回実施した。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校体育館を含めた空調整備が計画的に進められている。ともに、時代の変化に沿った先進的な取り組みであると評価できる。(R4点検評価員会議)</li> </ul>						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	13. 少人数教室の整備、学校園トイレの洋式化、学校体育館への空調設備の設置、単独調理場のドライ化				
	実行計画	第2期実行計画（令和2年度～令和5年度）			R4からR5の 達成度の推移	達成継続（→）
	関連計画	枚方市学校整備計画				

8-③	学校規模等適正化事業	担当課	新しい学校推進課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	1,026
					決算額	0
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<p>「枚方市学校規模等適正化基本方針（改定版）」に基づき、小規模校及び大規模校並びに過密校について、学校統合や通学区域の変更、増築等により、学校規模等の適正化に向けた取り組みを進める。また、「枚方市学校規模等適正化基本方針（改定版）」については、平成29年度の策定から5年以上が経過し、社会情勢や子どもを取り巻く環境も変化したことから、同方針の改定に向け、「枚方市学校規模等適正化審議会（第五次）」を設置し、検討を行う。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
<b>（実績値の内容）</b> 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校		実績値 [A] (校)	0	1	1	
<b>（目標値の根拠）</b> 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校		目標値 [B] (校)	0	1	1	
<b>（めざすべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  <small>※<sup>△</sup>なら C=A÷B</small> <small>※<sup>○</sup>なら C=(B+(B-A))÷B</small> <small>(小数第三位を四捨五入)</small>	-	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<p>◆大規模校・過密校対策として、菅原東小学校に仮設校舎6教室を令和4年度に増築、令和5年度から供用開始し、教室不足を解消した他、令和6年度から11年度までの期間、樟葉小学校の通学区域に在住し、樟葉小学校に入学予定の児童及び在籍児童等を対象に、希望により樟葉北小学校へ指定校を変更することができる制度を設定した。</p> <p>◇「枚方市学校規模等適正化基本方針（改定版）」の改定に向けて審議会の設置を検討していたが、今後の学校規模等の適正化にあたっては、市長部局における公共施設の考え方を踏まえて整理する必要がある。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）			R4からR5の達成度の推移	達成継続（→）
	関連計画	-				
8-④	学校ICT機器等整備業務【再掲】※基本方針1に記載			担当課	教育研修課	

8-⑤	校務の情報化推進事業	担当課	教育研修課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	38,010
					決算額	38,939
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・校務支援システムを更新し、学校における児童・生徒の情報を電子化して一元管理し、その情報を通知表、指導要録、出席簿等の作成や、成績・保健管理等に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図る。また、個人情報等を含むデータをサーバにより一元管理することで個人情報の持ち出しを防ぎ、学校内の情報セキュリティの向上を図る。</p> <p>・全中学校に採点支援システムを導入して、成績分析機能により生徒の弱点を把握し、個別最適な学びにつなげる。また、採点から成績処理の負担を軽減する。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 教員アンケートにおける「出席簿の学期ごとと年度末集計事務に要した合計時間」の1日の平均時間		実績値 [A] (時間)	1.93	1.75	0.89	
(目標値の根拠) 1.5時間以内(学校の放課後時間内(15:30~17:00))に完了することをめざすもの		目標値 [B] (時間)	1.50	1.50	1.50	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら $C=A \div B$ ※ <sup>◇</sup> なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	71.33	83.33	140.67	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆引き続き、校務支援システムを利用することにより、短縮できた時間を子どもたちと向き合う時間に充てることができた。</p> <p>◇国のめざす「クラウド・バイ・デフォルト」の原則を本市でも達成するために、校務支援システムデータをオンプレミスからクラウドへの移行検討が必要。その際に、現行の学校情報セキュリティポリシーの整理や教職員の情報セキュリティに対する意識の更なる向上が必要。</p> <p>◆令和4年度に導入した採点支援システムの活用頻度や効果について、令和5年度末にアンケート調査を実施した。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	140.67%
	市長公約	-			R4からR5の 達成度の推移	↑
	実行計画	-				
	関連計画	-				
8-⑥	小学校給食事業【再掲】※基本方策2に記載			担当課	おいしい給食課	

8-⑦	樟葉西小学校給食調理場改修事業	担当課	おいしい給食課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	212,700 (内R4から繰越104,000)
					決算額	96,450
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・単独調理場は、老朽化対策とドライシステム導入が喫緊の課題である。樟葉西小学校給食調理場は、建築後45年が経過する学校併設の最も古い単独の調理場の一つであり、地盤沈下による施設の不具合や給排水設備などの改修が必要なことから、経費・工期の縮減が見込める既存の建物を活用する長寿命化改修工事を行い、ドライシステム調理場として整備する。</p> <p>・令和4年度に予定していた工事の開札が中止となったことに伴い工期の変更を行い、令和5年7月から工事を開始した。工事着工後に建物の不良箇所が発見されたことから、外壁補修数量の変更、軒樋部分からの漏水箇所の補修、配管及び幹線ケーブルの敷設による設計変更を行う。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
<b>(実績値の内容)</b> 改修における対策(6段階)の進捗状況 (①設計・②仮配膳室設置・③解体・④建築・⑤備品整備・⑥仮配膳室撤去)		実績値 [A] (段階)	1 (指標①)	0	2.5 (指標②③④)	
<b>(目標値の根拠)</b> 改修完了までに実施すべき対策の段階(6段階)		目標値 [B] (段階)	1 (指標①)	2.5 (指標②③④)	2.5 (指標②③④)	
<b>(めざすべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら C=A÷B ※ <sup>□</sup> なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	0.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績 (◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆工事着工後に建物の不良箇所が発見されたことにより設計変更を行ったが、本改修工事の目的である建物を活用した長寿命化の着実な改修と衛生環境を整備したドライシステム調理場への整備に取り組んだ。令和5年度の設計変更に伴う工期の延長は必要なかったことから、今後も安全管理を徹底しながら、令和6年2学期からの供用開始に向け取り組みを進めていく。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	100.00%
	市長公約	令和2・3年度市政運営方針				
	実行計画	第2期実行計画(令和2年度～令和5年度)			R4からR5の 達成度の推移	↑
	関連計画	-				

## 未達成事業への対応

	事業名	未達成理由	今後の方向性

## 基本方策8に対する点検評価員による評価

<p>学校規模等の適正化、ICT環境の整備などについては、おおむね円滑に事業が実施されている。 各事業についての意見は、次のとおりである。</p> <p>8-③学校規模等適正化事業について、これまで学校統合のほか、大規模校での校舎の増築や、過密校対策として通学区域変更など、学校規模適正化の取組みを適宜行ってこられたことは評価できる。今後は長期的な人口減少も見据え、学校のあり方だけではなく、地域づくりやまちづくりといった視点をもった公共施設全体の運用と整合を図りながら検討することであり、このことが将来にわたる良好な教育環境の維持につながることを期待する。</p>
---

## 基本方策9 生涯学習の推進と図書館の充実

社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題等、様々な課題に関する学びと、その成果を生かす機会が生涯にわたって提供されることが必要です。


それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます<sup>①②</sup>。また、その学習の成果を、さらに地域において生かすことができる環境づくりを進めます。


図書館においては、これまでの図書館運営の成果と課題を検証したうえで、「枚方市立図書館第4次グランドビジョン」を策定（令和3年3月予定）し、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、市民ニーズに応じた資料や情報を提供する基本的な役割を果たす<sup>③④⑤⑥⑦⑧</sup>ことで、誰もが読書に親しむとともに、様々な課題の解決につながるよう支援します。また、新型コロナウイルス感染症等に対応する新しい生活様式を踏まえ、電子媒体を活用した非接触型の新しいサービス提供に向けた検討を進めます<sup>⑨</sup>。

読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館に対する中央図書館による支援強化<sup>⑩</sup>や、小学校への学校司書配置など、学校図書館機能の充実を図ることにより、児童・生徒の読書活動を推進します<sup>⑩</sup>。





9-①	社会教育活動推進事業	担当課	教育政策課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	6,225
					決算額	5,633
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>「人生100年時代」を迎えるにあたり、生涯自ら学習し、自己の能力を高め、働くことや、地域や社会の問題解決のための活動につなげていくことの必要性が高まっていく中、社会教育を推進するため、以下の事業を行う。</p> <p>社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。</p> <p>家庭教育支援事業…家庭教育を支援する各種事業を行う。参加者同士の話し合いを通じて、自らの子育てを振り返る機会を提供し、子育てに関する“気づき”を促す講座や、親と子が協力し、一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりする機会を提供することで、親子のコミュニケーションを促進する講座等を開催する。</p> <p>社会教育(人権)講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座や、日本語の読み書きや話すことに支障があるため、日常生活に困難を有する人に対し、日本語の学習の場を提供することを目的とした、「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」等を実施する。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 社会教育活動推進事業への延べ参加者数		実績値 [A] (人)	2,379	3,375	3,686	
(目標値の根拠) 新型コロナウイルス感染症の感染状況の動向が不透明であるものの、令和2年度に落ち込んだ実績を毎年730人ずつ増加させ、令和5年度までの3年間でこれまでの目標値を達成する。 【令和2年度までの目標値】「よみかき」等については平成27年度から令和元年度までの延べ参加者数の平均、その他の事業については募集人数の80%		目標値 [B] (人)	2,670	3,400	4,130	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら C=A÷B ※ <sup>□</sup> なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	89.10	99.26	89.25	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆社会教育基礎講座として、連続講座「人生100年時代のライフプランと資産運用①」(29人参加)・「人生100年時代のライフプランと資産運用②」(25人参加)、オンライン講座「子育て世代のためのマネープラン～将来のために備えよう～」(32人参加)、家庭教育支援事業として、「親子で楽しもう!LED工作教室～あかりについて楽しく学ぼう～」(8組17人参加)、「春休み 親子で楽しむ木工リサイクル～木片を使って、世界にひとつのオブジェ作り～」(10組28人参加)、「子育て応援!親学び講座」(9人参加)、PTA協議会と共催で「教育講演会 これからを生きる子どもたちにできること～時代を見すえ、備える～」(109人参加)、「思春期のいまだきネットトラブル事情～うちの子、大丈夫?後払い決済から闇バイトまで～」(23人参加)、人権政策室と共催で「家族みんなで子どもとの時間を楽しもう」(64人参加)、社会教育人権講座として、「人形劇でこころをつなごう」(23組51人参加)を開催した。また、枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」は、延べ2,344人の学習者が参加した。</p> <p>◇市民にニーズのある事業のテーマ設定や、開催日時の設定、周知方法について課題があるため、これまでの講座アンケート結果や、社会教育委員からのご意見も参照しながら、目標の達成に向け改善を図る。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<p>・市民のニーズを踏まえた講座を実施されており、参加者数が増加していることは評価できる。今後は、より多くの市民が講座に参加できるよう、オンライン講座の開催についても検討いただきたい。(R5点検評価員会議)</p>						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	89.25%
	市長公約	-				
	実行計画	-			R4からR5の 達成度の推移	↓
	関連計画	-				


9-②	生涯学習事業	担当課	文化生涯学習課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	18,703
					決算額	15,349
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>●生涯学習事業の推進 他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施している。</p> <p>●生涯学習施設の運営 生涯学習市民センター(9施設)の利用運営を行い、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業を実施している。</p> <p>●枚方市生涯学習推進審議会運営事務 市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。</p> <p>●枚方市美術推進委員協議会運営事務 年3回協議会を開催し、御殿山生涯学習美術センター及び総合文化芸術センター美術ギャラリーにおける企画展及び公募展の企画運営等、美術事業の推進に関することについて、専門的な立場から意見をいただく。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 生涯学習施策推進アンケートによる満足度の割合 (「満足」「概ね満足」と回答した設問数/総設問数) ※総設問数=アンケート回答者数×設問数		実績値 [A] (%)	51.48 (1,325/2,574)	51.04 (2,090/4,095)	43.48 (1851/4257)	
(目標値の根拠) 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答した設問数が80%		目標値 [B] (%)	80.00	80.00	80.00	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%) ※ $\square$ なら $C=A \div B$ ※ $\diamond$ なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	64.35	63.80	54.35	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆生涯学習事業の推進…自主事業や活動委員会事業を開催し、市民の生涯学習の機会を提供した。コロナ対策の緩和により、利用者数は増加傾向である。今後も継続して満足度の向上に努める。</p> <p>◆生涯学習施設の運営…生涯学習市民センター(9施設)の利用運営を行った。</p> <p>◆枚方市生涯学習推進審議会運営事務…令和6年2月22日に開催し、生涯学習交流センターの概要及び生涯学習市民センターの課題について審議した。</p> <p>◆枚方市美術推進委員協議会運営事務…7月、11月、3月に枚方市美術推進委員協議会を開催し、市所蔵美術品に関することやギャラリー利用者の報告、企画展及び公募展の企画運営について、専門的な立場から意見していただいた。</p> <p>◇利用者のニーズにあった事業を提供していくこと、気軽に立ち寄れる環境を整えていくことが必要である。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	54.35%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	↓
	関連計画	-				


9-③	図書館資料購入事務	担当課	中央図書館	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	80,000
					決算額	80,116
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>基本的な蔵書構成を維持しながら市民の多様なニーズに応えるため、雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広くバランスを意識し、あらゆる分野にわたり、正確で新しい情報を提供できるよう計画的に資料を購入する。また、貸出頻度の高い児童書のロングセラーや、情報が古く更新が必要な図書の買い替えを積極的に進め、蔵書のリフレッシュを昨年度に引き続き行う。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 市民一人あたりの貸出冊数		実績値 [A] (%)	9.69	12.08	9.86	
(目標値の根拠) 平成28年度～平成30年度の実績の平均に2% を乗じた数値		目標値 [B] (%)	8.70	8.70	8.70	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら $C=A \div B$ ※ <sup>□</sup> なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	111.37	124.54	113.33	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆選書に際しては、蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した。また、利用が多く劣化した本や情報の古い分野の蔵書の一部を更新した。 ◆図書館の蔵書となる図書を児童書14,745冊、一般書28,356冊、合計43,101冊購入した。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	113.33%
	市長公約	-				
	実行計画	-			R4からR5の 達成度の推移	達成継続 (↓)
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

9-④	分館・分室巡回業務	担当課	中央図書館	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	12,864
					決算額	12,833
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を業務委託により実施する。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
（実績値の内容） 分館・分室の巡回日数		実績値 [A] (件)	501	503	501	
（目標値の根拠） 年度当初に予定していた年間巡回日数		目標値 [B] (件)	501	503	501	
（めざすべき方向） 		達成度 [C] (%)  ※△なら C=A÷B ※□なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
◆年度当初に予定していた日数の巡回を実施した。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	100.00%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）			R4からR5の 達成度の推移	達成継続（→）
	関連計画	-				


9-⑤	中央図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	70,035
					決算額	68,236
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館政策の企画・立案・周知等を行う。</li> <li>・幅広い分野と難易度の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫における貸出を支援するとともに、他自治体の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの拠点館として各種図書館サービスを行う。</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 中央図書館の貸出冊数		実績値 [A] (冊)	764,594	721,508	722,554	
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均		目標値 [B] (冊)	745,016	699,532	661,718	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら $C=A \div B$ ※ <sup>◇</sup> なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	102.63	103.14	109.19	
令和5年度の取り組み実績 (◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆開館日数：293日 貸出冊数(個人)：772,554冊 予約受付件数(個人)：61,547件 延べ利用者数：303,908人						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	109.19%
	市長公約	-			R4からR5の 達成度の推移	達成継続 (ア)
	実行計画	-				
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

9-⑥	図書館分館運営事業	担当課	中央図書館	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	393,734
					決算額	289,529
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
図書館サービスにおける地域の拠点として、中央図書館および図書館分室と連携しながら、図書館資料の貸出やレファレンスサービス等の図書館サービスを提供することを目的として、図書館資料の貸出や予約の受付、レファレンスサービス、各種行事等を行う。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 全分館の貸出冊数		実績値 [A] (冊)	2,586,621	3,422,068	2,635,567	
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均		目標値 [B] (冊)	1,874,352	2,091,090	1,903,083	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ $\uparrow$ なら $C=A \div B$ ※ $\downarrow$ なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	138.00	163.65	138.49	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全7分館を指定管理者が運営している。</li> <li>◆各分館に収書希望を確認し、蔵書バランスや利用見込等を参考にしつつ、選書基準に基づき購入した。</li> <li>◆開館日数2,394日/7館(1館平均342日) 貸出冊数(個人): 2,635,567冊 予約受付件数(個人): 597,057件 延べ利用者数: 1,355,616人</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	138.49%
	市長公約	-				
	実行計画	-			R4からR5の達成度の推移	達成継続(↓)
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

9-⑦	コンピュータシステム運営事業	担当課	中央図書館	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	30,644
					決算額	29,886
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 図書館HPアクセス件数		実績値 [A] (件)	1,468,970	7,512,392	1,496,780	
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均		目標値 [B] (件)	1,287,244	1,385,867	1,300,290	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ $\uparrow$ なら $C=A \div B$ ※ $\downarrow$ なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	114.12	542.07	115.11	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆ページ別アクセス数ランキング(トップ、総合トップ、検索・分類ページを除く)では、「蔵書検索・利用者のページ」が令和5年度のうち9ヵ月間で上位5位以内に入った。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	115.11%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	達成継続(↘)
	関連計画	-				

9-⑧	障害者利用促進事業	担当課	中央図書館	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	1,299
					決算額	927
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・障害のある利用者等の読書環境を整備し、障害者等の利用促進を図ることを目的として、録音・点字資料の貸し出し、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行うとともに音訳協力者等の養成を行う。</p> <p>・「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)に基づき、視覚障害者等に対して、拡大読書機、ルーペ等の拡大補助具、点字ディスプレイ、デジブレイヤー等の機器について、個々の状態に応じた活用に留意し、支援を行うとともに、様々な読書手段を紹介する。</p> <p>・読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを行う。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 点字・録音図書貸出タイトル数		実績値 [A] (タイトル)	3,157	2,889	2,708	
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均		目標値 [B] (タイトル)	3,606	3,167	2,483	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ <sup>△</sup> なら C=A÷B ※ <sup>▽</sup> なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	87.55	91.22	109.06	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆視覚障害者サービスとして、対面読書を67回実施した。</p> <p>◆聴覚障害者サービスとして、手話でたのしみおはなし会を10回実施(延べ89人参加)、手話ブックトークを1回実施(20人参加)した。</p> <p>◆音訳協力者に対しては外部講師を招いての音訳講習を5回実施(延べ79人参加)した。</p> <p>◆これまで利用してきた利用者の高齢化や死亡により、利用を休止することが増え、点字・録音図書の貸出は減少傾向にある。このため読書相談や資料案内などを通じて読書要求の拡大に務めた。また、加齢に伴い通常の活字による読書が困難になった高齢者が貸出に占める割合は、新規登録を含めて増える傾向にあり、これらの状況をふまえて引き続きサービスの周知に務める。</p> <p>◇諸サービスについて、利用者の拡大と、録音資料の製作や対面読書を担う音訳協力者の養成が課題である。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	109.06%
	市長公約	-				
	実行計画	第2期実行計画(令和2年度～令和5年度)			R4からR5の 達成度の推移	↑
	関連計画	枚方市立図書館第4次ランドビジョン				



9-⑨	電子図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	31,056
					決算額	31,054
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
ICTの進展及びコロナ禍における新しい生活様式にも対応した図書館サービスとして、令和3年7月より「ひらかた電子図書館」を導入したが、電子書籍(コンテンツ)の充実が課題であり、交付金を活用するなどし、電子図書館の蔵書の増加を図る。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) ①電子書籍貸出冊数 ②閲覧回数(回)		実績値[A] (冊)	①17,860 ②38,869	①31,823 ②79,547	①39,410 ②96,891	
(目標値の根拠) 【R3年度】新規事業のため、所蔵冊数すべてを少なくとも1回は貸し出す、または閲覧するものとして設定 【R4年度】R3年度の実績(7月導入のため9か月分)を12か月分で換算した実績 【R5年度】直近2か年の平均値(R3を12か月換算)		目標値[B] (冊)	①6,500 ②6,500	①23,813 ②51,825	①27,818 ②65,686	
(めざすべき方向) 		達成度[C] (%)  ※ <sup>△</sup> ならC=A÷B ※ <sup>□</sup> ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	①274.77 ②597.98	①133.64 ②153.49	①141.67 ②147.51	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◇電子図書の蔵書冊数が少ない点と電子図書館の認知度を高める点が課題である。 ◆デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、一般書を4,231冊、児童書を921冊購入した。 ◆子どもに本を届ける基金を活用し、同時に複数人がひとつのタイトルを閲覧できる読み放題パックを440タイトル購入した。令和6年度も読み放題パック等購入予定。 ◆電子図書館利用統計 ログイン数:47,381回 閲覧回数:96,891回 貸出冊数:39,410冊 予約件数:6,383件						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・電子書籍貸出冊数が、さまざまな工夫により、目標値と比べて実績値がかなり大きくなったことは評価できる。更なる貸出冊数の増加に向けた取組みを進めていただきたい。(R4点検評価員会議)						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		達成度	144.59%	
	市長公約	-				
	実行計画	第2期実行計画(令和2年度～令和5年度)		R4からR5の達成度の推移	達成継続(ア)	
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

9-⑩	学校図書館支援事業	担当課	中央図書館	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	10,359
					決算額	10,430
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・学校図書館の充実と市立図書館蔵書の効果的な活用を図ることで、子どもの読書活動を推進し、自ら学び考える力の育成を支援することを目的に、教育指導課の事業計画「読書活動推進事業」と連携し、中央図書館から配置した学校司書への人的・技術的支援及び学校図書館システムの管理・技術的支援を行うとともに、学校図書館の整備及び読書活動の支援や調べ学習などの授業支援を行う。</p> <p>・児童生徒の読書習慣の確立や情報活用力の育成をめざし、市立小中学校に配置する学校司書と連携しながら、学校図書館機能の向上及び充実を図る。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数		実績値 [A] (冊)	23.72	22.02	21.84	
(目標値の根拠) 直近3年間の実績の平均		目標値 [B] (冊)	21.59	22.34	22.68	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※ $\uparrow$ なら $C=A \div B$ ※ $\downarrow$ なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	109.87	98.57	96.30	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆令和5年度、全19中学校及び小学校20校の学校司書25人(うち小中2校兼務8人、小学校2校兼務6人)と連携しながら、学校図書館整備の支援や学校図書館システムの管理・技術的支援、授業で活用するための資料提供等を行った。</p> <p>◆学校図書館における児童一人当たりの貸出冊数は微減となったが学校司書未配置校が20.55冊であったのに対し、配置校は23.60冊となった。</p> <p>◆市立小学1年生をひらかた電子図書館に登録し、令和5年度も引き続き、全児童生徒が電子図書館を利用できるようにした。7月より、学校での利用に適した、利用者数に制限なく同時にアクセスできる「児童書読み放題パック」を440点追加した(利用可能合計640点)。児童生徒の電子書籍閲覧数は7月～3月の間、令和5年度は46,697点となり、令和4年度の30,439点と比べ1.53倍増となった。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	96.30%
	市長公約	平成28・29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	第2期実行計画(令和2年度～令和5年度)			R4からR5の 達成度の推移	↓
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				
9-⑪	読書活動推進事業【再掲】※基本方針1に記載			担当課	教育指導課	

### 未達成事業への対応

事業名		未達成理由	今後の方向性
9-②	生涯学習事業	満足度の高い施設の運営及び事業の開催ができていないため。	引き続き、利用者のニーズに応える事業を実施することで満足度の向上に繋げていく。

### 基本方策9に対する点検評価員による評価

様々な講座を実施することで、市民に学習機会を提供できるような工夫がなされているほか、図書館運営事業では、電子書籍を含む蔵書のリフレッシュや充実が図られており、おおむね円滑に事業が実施されている。

各事業についての意見は、次のとおりである。

9-②生涯学習事業については、満足度が半数にも満たない状況を踏まえ、現状に甘んじることなく好事例を参考とするなど、市民ニーズ・満足度の向上を意識した事業展開に努められたい。

## 基本方策10 文化・スポーツなどの生涯を豊かにする体験活動の充実

「人生100年時代」を迎えるにあたり、一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、生涯学び、活躍していくためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。さらに、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

こうしたことから、子どもの時から様々な体験活動や、自由な空間を提供するとともに、地域等とも連携しながら、生涯にわたって人生を豊かにする多様な学習機会を提供していくことが求められています。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動等、様々な体験ができる機会を確保します<sup>①②</sup>。

生涯学習市民センターや新たに開設する「総合文化芸術センター」などを活用し、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備に努めます<sup>①③</sup>。

また、文化財等の適切な保存を進める<sup>④⑤</sup>とともに、特別史跡百済寺跡等の貴重な歴史文化遺産を生かして、子どもたちや市民の郷土の歴史への理解を深める<sup>⑥⑦</sup>とともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化観光への活用・発展を進めます。

また、各種スポーツ・レクリエーション活動については、プロスポーツに触れる機会の提供や、スポーツ環境の整備に取り組む<sup>⑧⑨</sup>とともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます<sup>⑩</sup>。

子どもたちは、自らの意思で「時間」「空間」を選び、「仲間」を作りながら、自由な遊びを通して成長していきます。子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に取り組みます<sup>⑩⑪</sup>。また、留守家庭児童会室の土曜日開室や三季休業期のみの利用受付を検討します<sup>⑪</sup>。

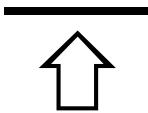
### 主要事業の状況

10-①	文化財活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	文化財課
10-②	野外活動センター利用促進事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	スポーツ振興課

10-③	文化芸術創造拠点形成事業	担当課	文化生涯学習課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	33,015
					決算額	32,434
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・枚方市文化芸術振興計画に基づき、事業を実施し、文化芸術振興審議会で進捗を管理する。</li> <li>・市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、総合文化芸術センターにおいて、指定管理者との共催等により事業を実施する。</li> <li>・文化芸術アドバイザーや連携協定を締結したプロのオーケストラ団体との事業を展開する。</li> <li>・市民や市民団体に文化芸術活動の発表の場を提供する市民総合文化祭を開催する。</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
<b>(実績値の内容)</b> 文化事業の参加者へのアンケートによる満足度の割合 【R3年度】「満足」「概ね満足」と回答した設問数/総設問数 【R4・5年度】(「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数/アンケート回答者数)×1割		実績値 [A] (%)	73.13 (2,251/3,078)	95.21 (936/983)	91.4 (867/949)	
<b>(目標値の根拠)</b> 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数が75%		目標値 [B] (%)	75.00	75.00	75.00	
<b>(めざすべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※◇なら C=A÷B ※▽なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	97.51	126.95	121.87	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆枚方市文化芸術振興審議会を3回開催し、枚方市文化芸術振興計画の改訂について審議を行った。</li> <li>◆市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、総合文化芸術センターにおいて、指定管理者との共催等により事業を実施した。</li> <li>◆連携協定を締結した大阪フィルハーモニー交響楽団との連携事業を行った。</li> <li>◆市民や市民団体に文化芸術活動の発表の場を提供する市民総合文化祭を8月～9月にかけて開催した。</li> <li>◆枚方市文化芸術アドバイザーである劇作家・平田オリザ氏の企画により、演劇手法を用いてコミュニケーション力を育てる「コミュニケーション授業」を13市立小学校の6年生を対象に実施した。</li> <li>◆小学校の5・6年生を対象に、枚方市アーティストバンク登録アーティストを派遣する「小学校アウトリーチ事業」を28校で実施した。</li> <li>◆令和6年1月29日・30日に、全市立中学校の1年生を対象とした大阪フィルハーモニー交響楽団によるフルオーケストラ鑑賞「中学校オーケストラ鑑賞事業」を実施した。</li> <li>◆公募で選ばれた市内在住・在学の中高生が大阪フィルメンバーらの指導を受けながら、大ホールでの演奏会に臨む「枚方ジュニア brassバンド事業」を実施した。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		達成度	121.87%	
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)		R4からR5の達成度の推移	達成継続(√)	
	関連計画	-				

10-④	文化財保護管理事業	担当課	文化財課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	37,125
					決算額	23,115
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹠陀東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理する。</li> <li>・特別史跡百済寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施。</li> <li>・楠葉台場跡は、幕末の砲台場を保護している史跡であり、その維持のため草刈りや、清掃点検等保全管理する。</li> <li>・文化財管理用地にある竹林(国史跡楠葉台場跡の一部と藤田山遺跡第1丘陵及び第5丘陵の3か所)について、森林環境基金を活用し竹林管理を行う。</li> <li>・文化財管理用地内の樹木が倒れ、被害が発生する可能性があるため、危険がある樹木の剪定・討伐を行う。</li> </ul>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
<b>(実績値の内容)</b> 当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合		実績値 [A] (%)	100.00	100.00	100.00	
<b>(目標値の根拠)</b> 当該年度の国庫補助金の費消率		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
<b>(めざすべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※ $\square$ なら $C=A \div B$ ※ $\square$ なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹠陀東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等10か所の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理した。</li> <li>◆特別史跡百済寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施。年間利用9回</li> <li>◆楠葉台場跡の維持のため年7回の草刈り等や、週3回の清掃点検等保全管理を実施。</li> <li>◆文化財管理用地にある竹林(国史跡楠葉台場跡の一部と藤田山遺跡第1丘陵及び第5丘陵の3か所)について、森林環境基金を活用し竹の間伐などの竹林管理を行った。</li> <li>◆文化財管理用地である藤田山第1第5丘陵、牧野車塚古墳、支障木の剪定・討伐を行った。</li> </ul>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	達成度	100.00%		
	市長公約	-	R4からR5の達成度の推移	達成継続(→)		
	実行計画	-				
	関連計画	-				

10-⑤	市指定文化財補助事業	担当課	文化財課	事業費（千円）	予算額	340
				※人件費は除く	決算額	340
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円の枚方市文化財保存事業補助金を交付し、市指定文化財の保存管理を支援する。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
<b>（実績値の内容）</b> 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数		実績値 [A] (件)	14	14	14	
<b>（目標値の根拠）</b> 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の申請件数		目標値 [B] (件)	14	14	14	
<b>（めざすべき方向）</b> 		達成度 [C] (%)  ※△なら $C=A \div B$ ※◇なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
◆建造物の所有者に40,000円（3件）、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円（11件）の枚方市文化財保存事業補助金を交付し、市指定文化財の保存管理を支援した。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			達成度	100.00%
	市長公約	-			R4からR5の達成度の推移	達成継続（→）
	実行計画	-				
	関連計画	-				

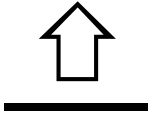
10-⑥	特別史跡百済寺跡再整備事業	担当課	文化財課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	186,513
					決算額	36,568
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・平成16年度に測量調査実施、平成17年度から平成25年度の9年間で発掘調査を行った。再整備に向け、平成24年度と平成25年度に基本計画の策定と基本設計を行い、平成26年度の実施設計を経て、平成27年度から再整備工事に着手している。再整備工事着手後、工事の遅延や築地塀の構造細部、瓦の意匠検討等に時間を要したため、整備計画スケジュールを見直し、事業完了を平成30年度から令和5年度としたが、整備費国庫補助金の減額、建築資材の高騰などのためさらに延び、令和6年度の完成となる見込みである。</p> <p>・令和5年度は、歴史的建造物である築地塀の建設工事を進め年度内に完成させ、公園入口広場の舗装等の整備を行う予定である。</p>						
			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 当該年度の事業進捗割合	実績値 [A] (%)	100.00	95.00	100.00		
(目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率	目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00		
(めざすべき方向) 	達成度 [C] (%)  ※ $\square$ なら $C=A \div B$ ※ $\square$ なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00		
令和5年度の取り組み実績 (◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆歴史的建造物である築地塀の建設工事を完成させた。</p> <p>◆史跡公園内の基壇、排水設備、東側入口手すり、大型バス駐車場等の改修工事を実施した。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			達成度	100.00%
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	達成継続(→)
	関連計画	-				




10-⑦	市史編さん年報発行事務	担当課	文化財課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	2,207
					決算額	1,722
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 市史関係の照会および市史資料の利用件数		実績値 [A] (件)	269	224	223	
(目標値の根拠) 直近10年間のうち、利用件数上位5年の平均値		目標値 [B] (件)	317	300	300	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※△なら $C=A \div B$ ※○なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	84.86	74.67	74.33	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆令和4年度枚方市史編さん事業の概要と本市の歴史に関する3本の論考等を掲載した『枚方市史年報』第26号(有償頒布:1部400円)を刊行した。 ◆写真や図版を多く取り入れ、市の歴史をわかりやすく解説したビジュアル版郷土読本『楽しく学ぶ 枚方の歴史』を、特別史跡百済寺跡や禁野本町遺跡の調査成果などを加えて大幅に内容を改訂し、全面カラー刷で新版を発行した。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち		達成度	74.33%	
	市長公約	-				
	実行計画	-		R4からR5の達成度の推移	↓	
	関連計画	-				

10-⑧	各種スポーツ大会等開催事業	担当課	スポーツ振興課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	43,896
					決算額	43,765
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種競技大会(総合体育大会等)の運営を公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し、実施。</li> <li>市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。</li> <li>ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託して実施。</li> </ul>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 各種大会等参加者数		実績値 [A] (人)	11,118	15,464	20,880	
(目標値の根拠) 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらか多い数		目標値 [B] (人)	24,918	24,918	24,918	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※□なら $C=A \div B$ ※◇なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	44.61	62.06	83.79	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆各種競技大会(総合体育大会等)の運営を、公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し実施した。(参加者:16,389人)</p> <p>◆4月29日にKTM河本工業総合体育館で枚方市長杯市内高校バレーボール大会を実施した(参加者:388人)</p> <p>◆6月18日にたまゆら陸上競技場でラグビーカーニバル(参加者:1,254人)を、6月8日にたまゆら陸上競技場でRUGBY WORLD CUP 2023パブリックビューイング(参加者:300人)の運営を、公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し実施した。</p> <p>◆こども夢基金を活用し、トップアスリートとのふれあい事業として、SOMPOボールゲームフェスタ(参加者:121人)、スポーツチャレンジフェスタ(参加者:362人)、HIRAKATA SPORT EXPO(参加者:2,066人)を実施した。</p> <p>◇新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、各種競技大会の参加者数は回復傾向にあるが感染拡大前ほどではないため、スポーツ協会や各加盟団体を通じて、大会等の開催について周知に努める必要がある。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			達成度	83.79%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度~平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	↑
	関連計画	-				

10-⑨	スポーツ推進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	10
					決算額	41
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) スポーツ活動者数 (競技大会等のスポーツイベントの参加者数及びスポーツ施設の利用者数)		実績値 [A] (人)	803,193	1,006,818	1,033,755	
(目標値の根拠) 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらか多い数		目標値 [B] (人)	1,150,649	1,150,649	1,150,649	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※◇なら $C=A \div B$ ※◇なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	69.80	87.50	89.84	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆「枚方市スポーツ推進計画」について、R4年度に策定した中間評価報告書をもとに、当該計画の改訂版を策定した。 ◇更なるスポーツ活動者数の増加を図るため、より効果的な情報発信の内容や手法について検討していく必要がある。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	89.84%
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	↑
	関連計画	-				

10-⑩	総合型放課後事業	担当課	放課後子ども課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	930,355
					決算額	895,785
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
子どもたちの「時間」「空間」「仲間」のいわゆる3間を充実させ、すべての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様で自主的な活動に参加できる環境として「放課後オープンスクエア」を令和5年4月より全校(44校)で実施し、「留守家庭児童会室」と一体的な運営を核とし、「枚方子どもいきいき広場」と連携・協働しながら、「総合型放課後事業」として民間活力を活用しながら安定的な運営に取り組む。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 全児童に対する放課後の児童の居場所(放課後オープンスクエアの利用者及び留守家庭児童会入室児童)の割合		実績値 [A] (%)	-	-	50.48	
(目標値の根拠) 児童たちの放課後の居場所として利用することができる		目標値 [B] (%)	-	-	20.00	
(めざすべき方向) 		達成度 [C] (%)  ※◇なら $C=A \div B$ ※◇なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	-	-	252.40	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆令和5年度より市立全小学校で放課後オープンスクエアを実施し、「総合型放課後事業」として、留守家庭児童会室と一体的な取り組みを進めた。令和5年4月1日現在の各留守家庭児童会室の定員に対する入室状況は、6名の待機児童が発生していたが、9月末に待機児童は解消された。 ◆放課後オープンスクエア登録児童数(3月現在) 7,779人(登録率39.0%) ◆放課後オープンスクエア参加人数(1日平均) 1015.4人 ◆留守家庭児童会室入室児童数(4月末現在) 4,637人 ◆留守家・放課後OS併用利用児童数(7月現在) 1,254人 ◆全児童数(4月1日現在) 19,951人						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・これまで期限内に入室申込みのあった全ての児童を受入れるという方針のもと、臨時定員等を設けて受け入れられてきたということであるが、今後も放課後オープンスクエアの拡充、職員体制や施設の整備、余裕教室の確保などを通じて、通年で待機児童0をめざして取り組んでいただきたい。(R5点検評価員会議)						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	252.40%
	市長公約	平成29・30年度・令和元・2・3年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	—
	関連計画	-				

10-⑩	枚方子どもいきいき広場補助事業	担当課	放課後子ども課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	31,212
					決算額	28,959
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内44小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を活かしたプログラムを児童健全育成事業として実施する。地域団体やNPO等に対し支援・助成を行う。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
<b>(実績値の内容)</b> 参加した子どもにおける事業の満足度 (算出式: 満足度の高いアンケート回答者数/アンケート回答者数)		実績値 [A] (%)	88.40	アンケート調査未実施のため 実績なし	88.9	
<b>(目標値の根拠)</b> 参加した子どもにおける事業の満足度		目標値 [B] (%)	80.00	80.00	80.00	
<b>(めざすべき方向)</b> 		達成度 [C] (%)  ※◇なら $C=A \div B$ ※◇なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	110.50	アンケート調査未実施のため 測定不能	111.13	
令和5年度の取り組み実績 (◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆枚方子どもいきいき広場事業の第1回活動団体代表者会議を7月に開催、第2回活動団体代表者会議を11月に開催、第3回活動団体代表者会議を3月に開催し、活動報告や取組みについて情報交換を行った。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	111.13%
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度~平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	—
	関連計画	-				

## 未達成事業への対応

事業名		未達成理由	今後の方向性
10-⑦	市史編さん年報発行事務	インターネットでの情報収集（ホームページ、YouTube、SNS等）により、直接の問い合わせが減少傾向にある。	引き続き市史年報等の発行を行うほか、ホームページなどでの情報発信を行っていく。

## 基本方策10に対する点検評価員による評価

子どもたちが生涯にわたって人生を豊かにする多様な学習機会を提供するべく、多くの文化財や施設を活用した様々な事業を通じて、文化やスポーツ等に親しむ取組みが推進できている。

各事業についての意見は、次のとおりである。

10-③文化芸術創造拠点形成事業については、小学校アウトリーチ事業や中学校オーケストラ鑑賞事業などを通して、児童生徒が文化・芸術に触れることのできる機会を大切にし、継続的に提供していることは評価できる。

## 7. 枚方市教育委員会の令和5年度の活動の概要

枚方市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長と4人の委員により組織される合議制の執行機関であり、その権限に属する教育に関する事務を管理執行しています。教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です。

### 【教育委員会の構成】

(令和6年3月31日現在)

職名	氏名	任期	備考
教育長	尾川 正洋	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日	令和4年4月1日 新任
教育委員	谷元 紀之	平成28年9月27日～ 令和9年3月31日	令和5年4月1日 再任
教育委員	橋野 陽子	平成28年4月1日～ 令和6年3月31日	令和2年4月1日 再任
教育委員	近藤 孝	平成30年4月1日～ 令和8年3月31日	令和4年4月1日 再任
教育委員	中西 悠子	令和3年4月1日～ 令和7年3月31日	令和3年4月1日 新任

#### (1) 令和5年度教育委員会定例会・臨時会について

教育委員会の会議は、原則として毎月定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。定例会とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条の規定に基づき、枚方市教育委員会会議規則第2条第2項の規定により毎月1回開催する会議です。臨時会とは、同規則第2条第3項の規定により臨時に開催する会議です。

#### (2) 令和5年度教育委員会協議会について

教育委員会協議会は、枚方市教育委員会会議規則第18条の規定により、委員会の所管事項について、教育長から報告を受ける必要があると認めるとき、又は特定の事項について調査、研究等の必要があると認めるときに開催する会議です。

【令和5年度教育委員会定例会・臨時会の開催実績及び協議会案件数】

区分	年 月 日	日数 (日)	出席 委員数 (人)	審 議 内 容 (件)								協議 会案 件数
				原案 可決	修正 可決	選挙	承認	不採択	継続	聴取	計	
令和5年第4回 定例会	令和5年4月25日	1	5	1	-	-	18	-	-	1	20	-
令和5年第3回 臨時会	令和5年5月22日	1	5	2	-	-	-	-	-	-	2	-
令和5年第5回 定例会・協議会	令和5年5月30日	1	5	5	-	-	3	-	-	-	8	5
令和5年第6回 定例会・協議会	令和5年6月30日	1	5	-	-	-	1	-	-	3	4	1
令和5年第7回 定例会・協議会	令和5年7月28日	1	5	2	-	-	2	-	-	2	6	1
令和5年第8回 定例会	令和5年8月29日	1	5	5	-	-	1	-	-	1	7	-
令和5年第9回 定例会・協議会	令和5年9月12日	1	5	2	-	-	2	-	-	1	5	3
令和5年第10回 定例会・協議会	令和5年10月30日	1	5	4	-	-	3	-	-	3	10	1
令和5年第11回 定例会・協議会	令和6年11月21日	1	5	2	-	-	-	-	-	-	2	4
令和5年第4回 臨時会	令和5年12月5日	1	5	-	-	-	-	-	-	2	2	-
令和5年第12回 定例会・協議会	令和5年12月21日	1	4	2	-	-	1	-	-	2	5	2
令和6年第1回 定例会・協議会	令和5年1月26日	1	5	-	-	-	3	-	-	1	4	1
令和6年第1回 臨時会	令和6年2月1日	1	4	1	-	-	2	-	-	-	3	-
令和6年第2回 定例会・協議会	令和6年2月8日	1	5	2	-	-	5	-	-	1	8	9
令和6年第3回 定例会・協議会	令和6年3月26日	1	5	1	-	-	6	-	-	13	20	2



(3) 令和5年度教育委員会の活動状況

会議・行事等		出席回数		
		R3年度	R4年度	R5年度
①	学校関係（式典、行事等）	6回	14回	16回
②	学校関係（授業視察等）	17回	140回	80回
③	教育委員会関係（式典、会議、行事等）	94回	246回	110回
④	枚方市、市議会、各種団体関係（式典、会議、行事等）	127回	159回	142回
⑤	教育長協議会、会議研修等	20回	14回	18回
⑥	教育委員研修会等	4回	6回	7回
合計		268回	579回	373回